

# 令和元年度 泉区区民意識調査

調査結果報告書

【概要版】

令和元年 12 月

横浜市泉区

## 目 次

I. 調査概要 .....	1
II. 回答者の属性 .....	2
III. 集計分析結果 .....	5
1. 生活環境全般について .....	5
2. 買い物や飲食について .....	11
3. 日常の交通行動について .....	15
4. 泉区の魅力・定住意向について .....	18
5. 防災について .....	24
6. 防犯について .....	26
7. 地域での支え合いについて .....	27
8. 健康づくりについて .....	30
9. 高齢者福祉について .....	32
10. 子育て支援・青少年育成について .....	34

## I. 調査概要

◆調査対象：泉区内在住の18歳以上の男女無作為抽出3,000人

◆抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

◆調査方法：郵送によるアンケート形式

◆調査期間：令和元年7月1日～7月16日

◆回収数：1,753通（回収率58.4%）

◆集計結果の見方

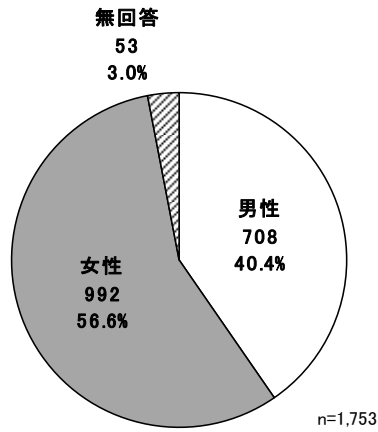
- ① 図（グラフ）の中で使用されているアルファベットnは、その設問に対する回答者数をあらわす。
- ② 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。
- ③ 小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ④ 回答の比率を足し合わせた数値については、小数点以下第2位を四捨五入した数値を基に算出したものである。

※概要数値の見方

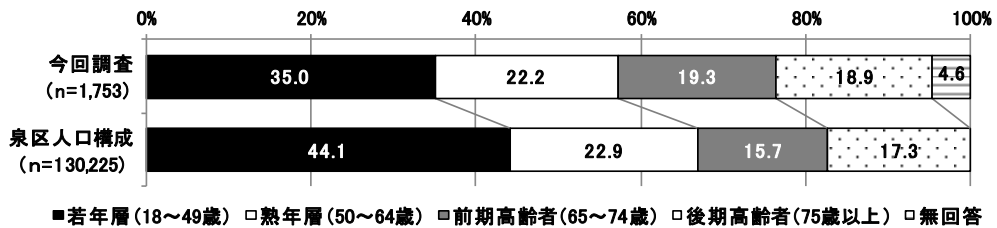
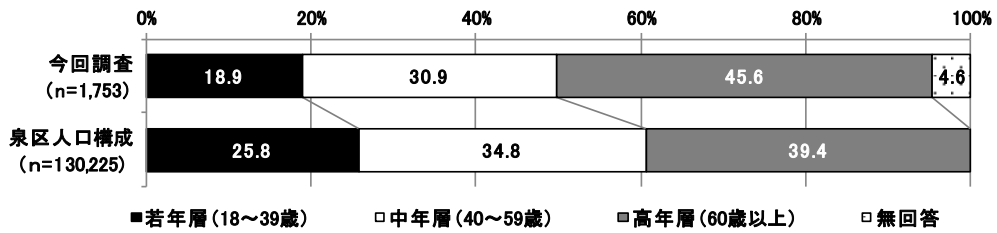
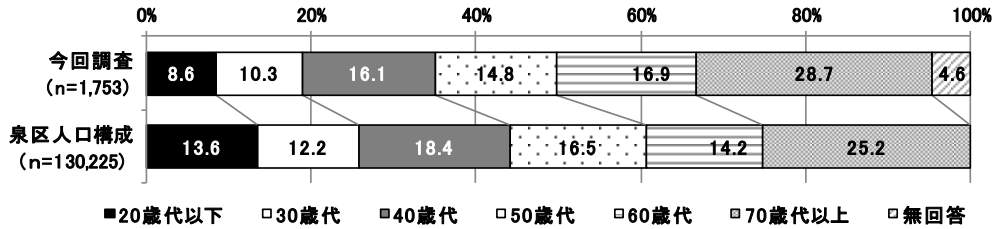
数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている（n=1,753）。

## Ⅱ. 回答者の属性

### F1 性別(○は1つ)



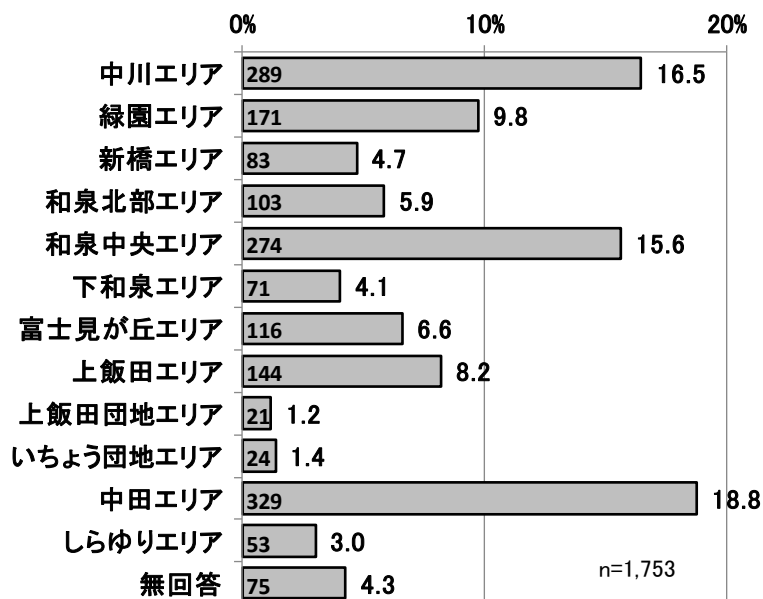
### F2 年齢



出所) 横浜市ポータルサイト 横浜市・各区分 年齢別男女別人口 (住民基本台帳)

注) 泉区人口は平成31年3月末日現在 18歳以上人口を抽出 (130,225人)

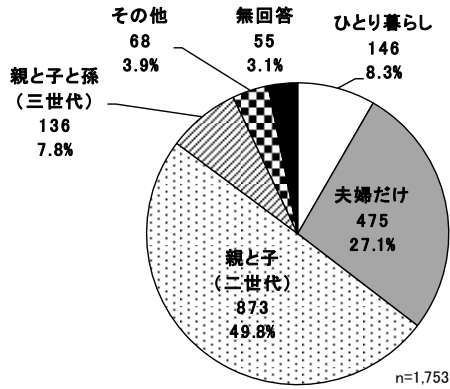
### F3 居住エリア



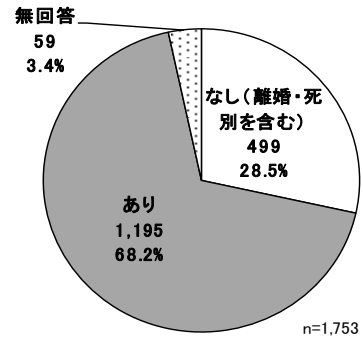
エリア名	町名
中川エリア	岡津町1～2000番、岡津町2001番～、桂坂、西が岡一丁目、西が岡二丁目、西が岡三丁目、弥生台、領家一丁目、領家二丁目、領家三丁目、領家四丁目
緑園エリア	緑園一丁目、緑園二丁目、緑園三丁目、緑園四丁目、緑園五丁目、緑園六丁目、緑園七丁目、池の谷
新橋エリア	新橋町
和泉北部エリア	和泉町6000番～
和泉中央エリア	和泉町3500～4999番、和泉町5000～5999番、和泉中央南一丁目、和泉中央南二丁目、和泉中央南三丁目、和泉中央南四丁目、和泉中央南五丁目、和泉中央北一丁目、和泉中央北二丁目、和泉中央北三丁目、和泉中央北四丁目、和泉中央北五丁目、和泉中央北六丁目
下和泉エリア	和泉が丘一丁目、和泉が丘二丁目、和泉が丘三丁目、下和泉四丁目、下和泉五丁目
富士見が丘エリア	和泉町1～3499番、下飯田町、下和泉一丁目、下和泉二丁目、下和泉三丁目
上飯田エリア	上飯田町1～2000番、上飯田町2001～4000番、上飯田町4001番～
上飯田団地エリア	上飯田1～2000のうち、居住形態が「賃貸物件(県営・市営)」
いちよう団地エリア	上飯田2001～4000のうち、居住形態が「賃貸物件(県営・市営)」
中田エリア	中田町、中田北一丁目、中田北二丁目、中田北三丁目、中田西一丁目、中田西二丁目、中田西三丁目、中田西四丁目、中田東一丁目、中田東三丁目、中田東四丁目、中田南一丁目、中田南二丁目、中田南三丁目、中田南四丁目、中田南五丁目
しらゆりエリア	白百合一丁目、白百合二丁目、白百合三丁目、中田東二丁目

※F11 の回答に自治会・町内会名の記載がある場合は、自治会・町内会を基にエリアを割り振っている。

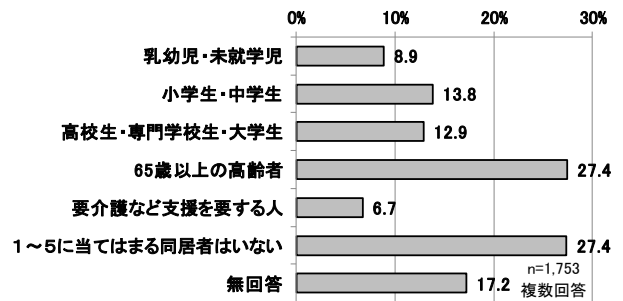
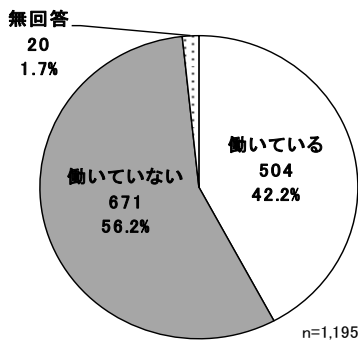
F4 家族構成(○は1つ)



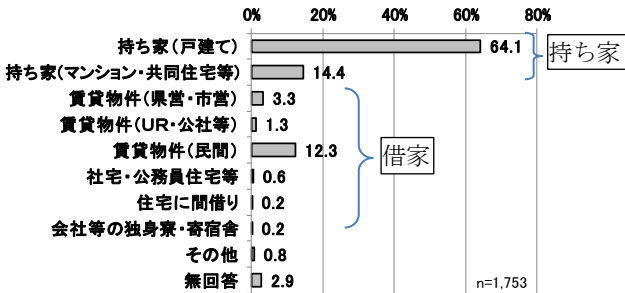
F5 配偶者の有無(○は1つ)



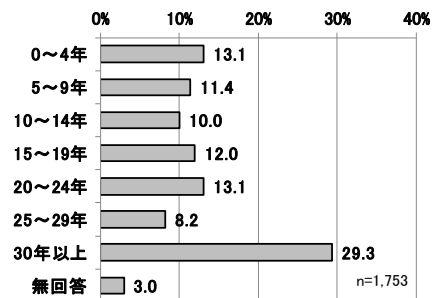
F6 自身と配偶者は、2人とも働いているか(○は1つ) F7 乳幼児・未就学児、学童・学生、高齢者、要介護者の有無(○はいくつでも)



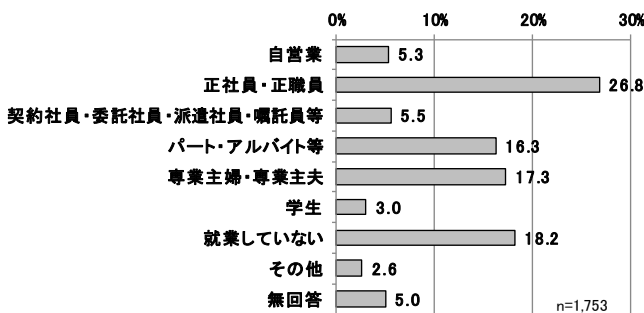
F8 居住形態(○は1つ)



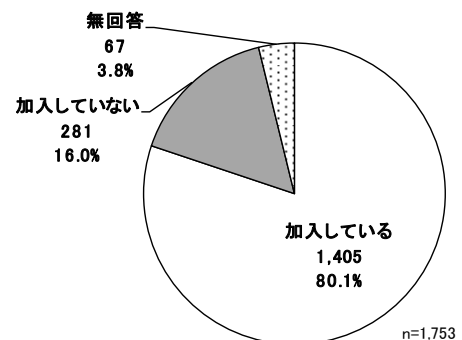
F9 居住年数(○は1つ)



F10 就労状況(○は1つ)



F11 自治会町内会への加入状況(○は1つ)

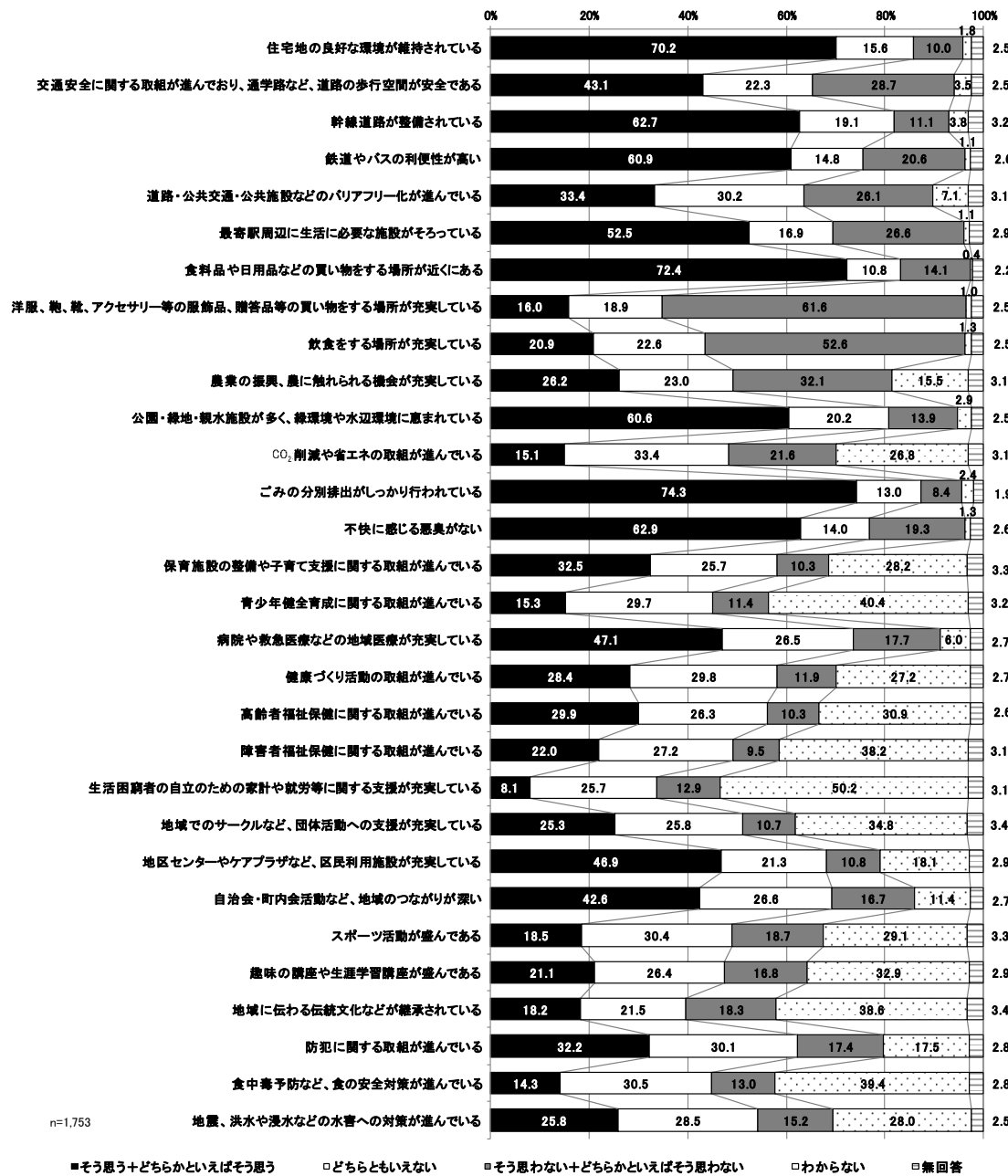


### Ⅲ. 集計分析結果

#### 1. 生活環境全般について

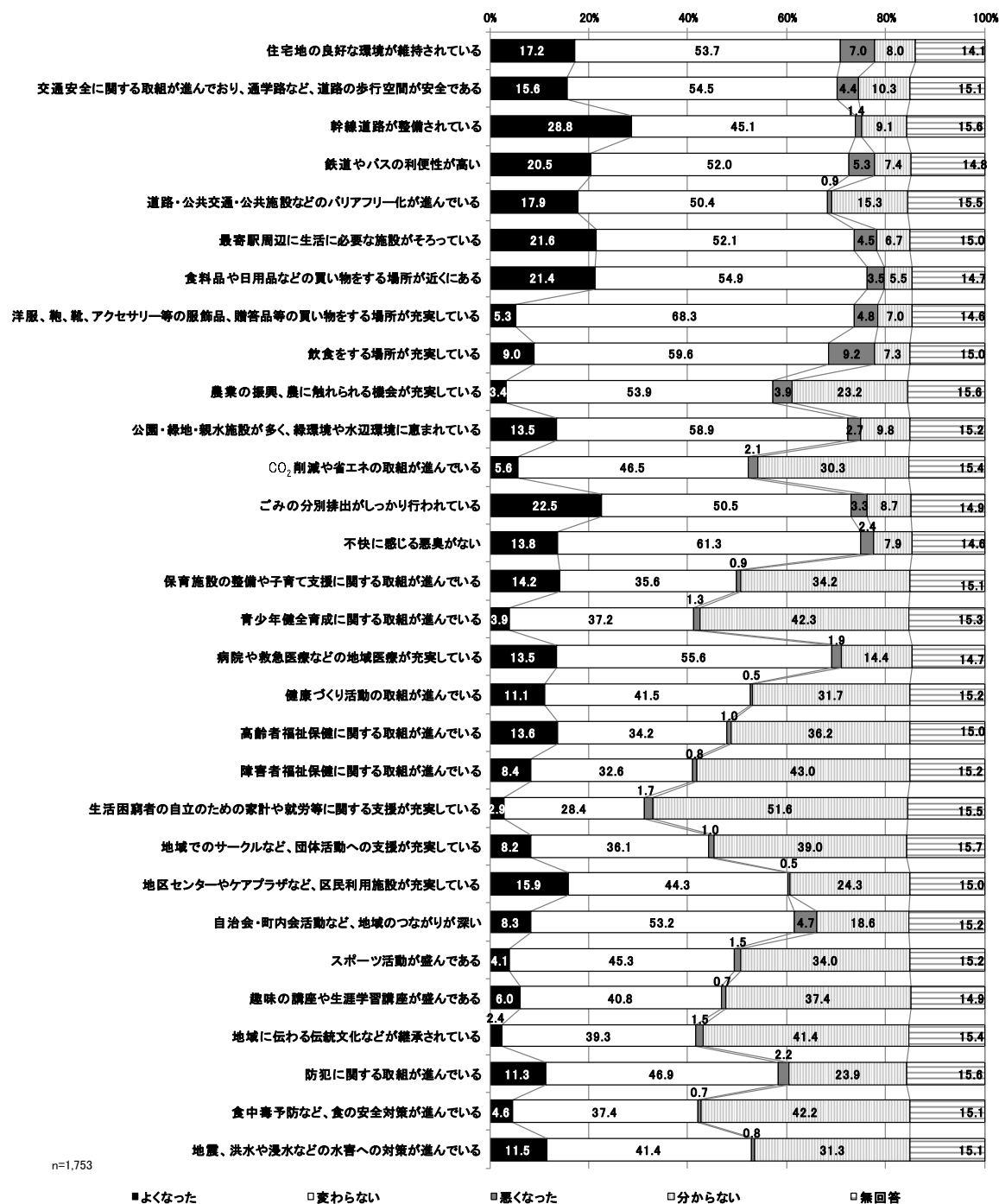
満足度の上位5項目は「ごみの分別排出がしっかり行われている」「食料品や日用品などの買い物をする場所が近くにある」「住宅地の良好な環境が維持されている」「不快に感じる悪臭がない」「幹線道路が整備されている」。

#### お住まいの地域について現在どのように感じているか



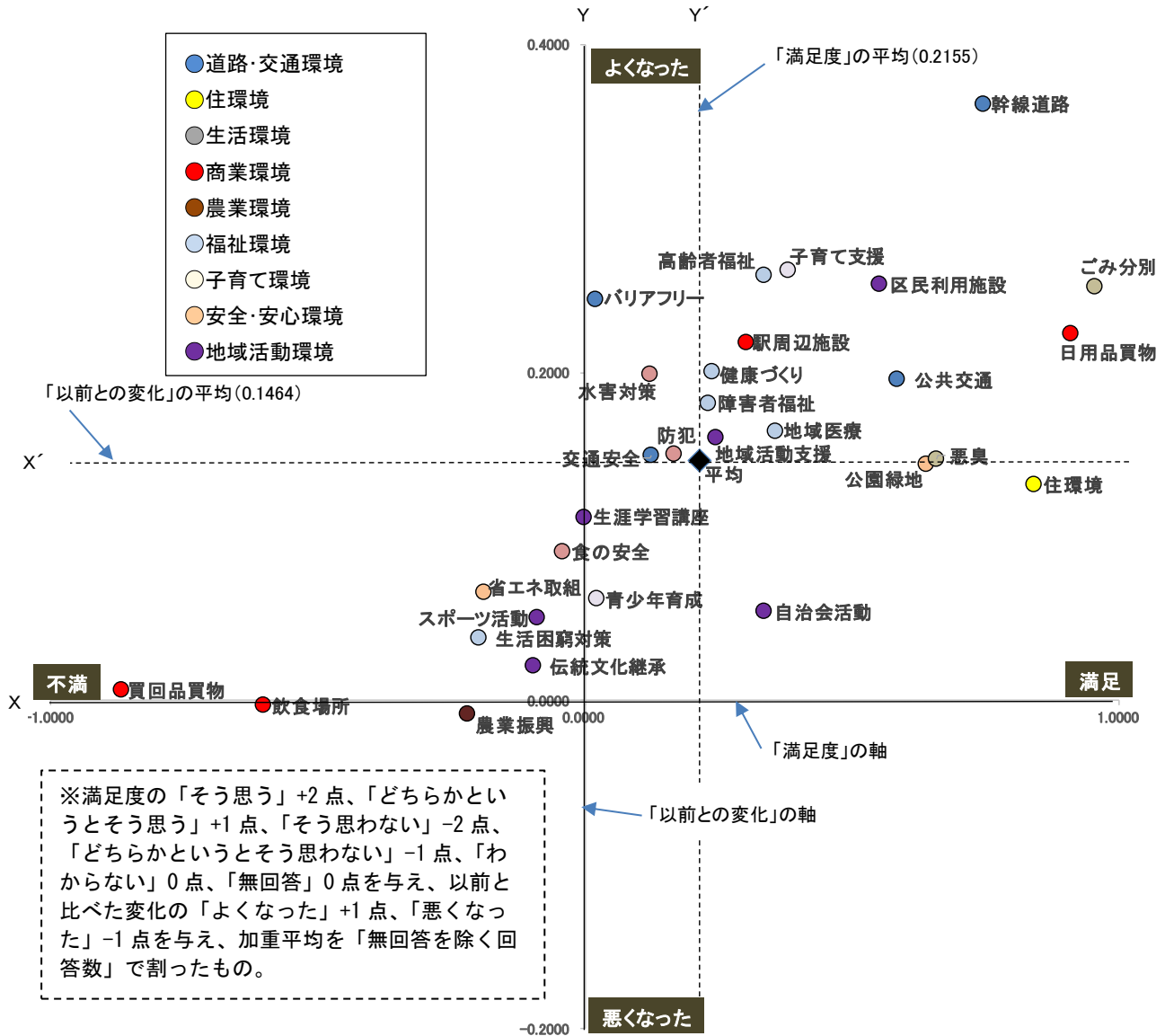
以前よりよくなった上位5項目は「幹線道路が整備されている」「保育施設の整備や子育て支援に関する取組が進んでいる」「高齢者福祉保健に関する取組が進んでいる」「地区センターやケアプラザなど、区民利用施設が充実している」「ごみの分別排出がしっかり行われている」。

### 以前(4~5年前)と比べてどのように変わったか





## お住まいの地域について、「現在」の満足度と「以前」との変化について



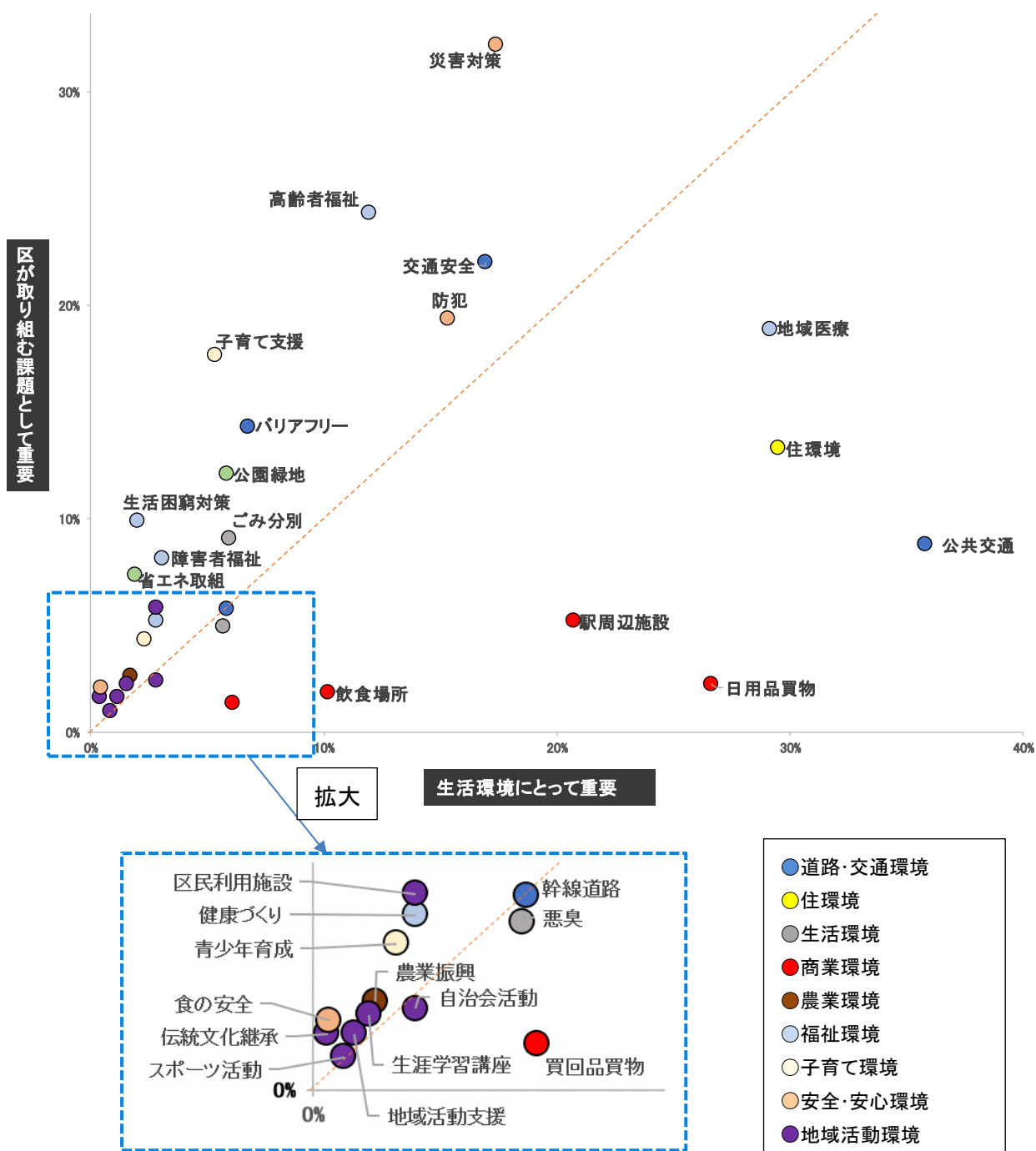
### 【生活環境評価項目の平均値との比較】

- ・「満足度」が高く、以前より評価が「よくなった」項目（満足度、変化ともに平均より高いもの）は、「ごみの分別排出がしっかり行われている」「食料品や日用品などの買い物をする場所が近くにある」「住宅地の良好な環境が維持されている」「幹線道路が整備されている」「不快に感じる悪臭がない」「公園・緑地・親水施設が多く、緑環境や水辺環境に恵まれている」「鉄道やバスの利便性が高い」「地区センターやケアプラザなど、区民利用施設が充実している」「保育施設の整備や子育て支援に関する取組が進んでいる」「病院や救急医療などの地域医療が充実している」「高齢者福祉保健に関する取組が進んでいる」「最寄駅周辺に生活に必要な施設がそろっている」「地域でのサークルなど、団体活動への支援が充実している」「健康づくり活動の取組が進んでいる」「障害者福祉保健に関する取組が進んでいる」である。
- ・「満足度」が低く、以前より評価が「悪くなった」項目（満足度、変化ともに平均より低いもの）は、「洋服、靴、靴、アクセサリ等の服飾品、贈答品等の買い物をする場所が充実している」「飲食をする場所が充実している」「農業の振興、農に触れられる機会が充実している」「生活困窮者の自立のための家計や就労等に関する支援が充実している」「CO<sub>2</sub>削減や省エネの取組が進んでいる」「地域に伝わる伝統文化などが継承されている」「スポーツ活動が盛んである」「食中毒予防など、食の安全対策が進んでいる」「趣味の講座や生涯学習講座が盛んである」「青少年健全育成に関する取組が進んでいる」である。

「生活環境にとって重要な項目」は交通、住環境、買い物など、民間(企業)の力を必要とするものが多く、「区役所が取り組む課題として重要」な項目は、安全・安心、福祉に関わるものが多い。

### 「生活環境にとって重要な項目」と「区役所が取り組む課題として重要な項目」の関係

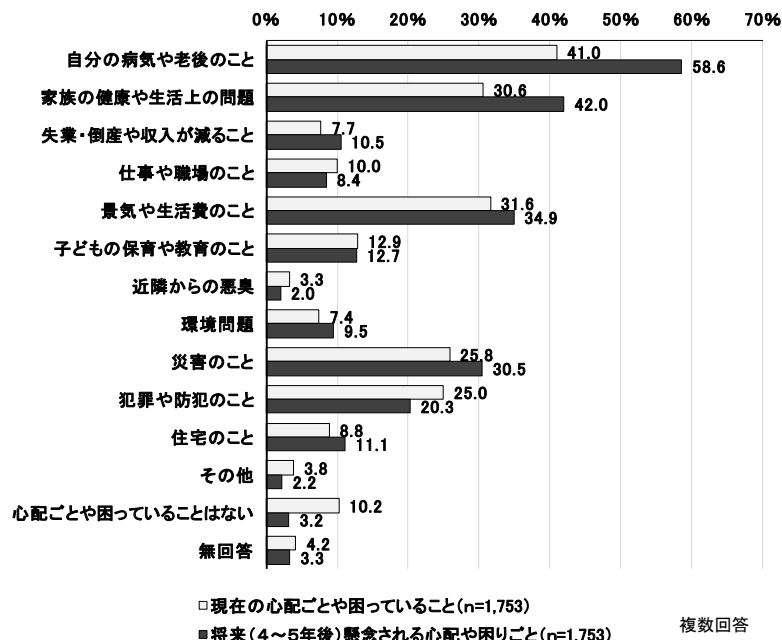
- ・「生活環境にとって重要」な項目は、交通、買い物など、民間(企業)の力を必要とするものが多く、「区役所が取り組む課題として重要」な項目は、安全・安心、福祉に関わるものが多い。
- ・「生活環境にとって重要」な項目の上位に位置する項目は必ずしも「区役所が取り組む課題として重要」の上位には位置していない。



「現在、自分や家族の生活の事で心配ごとや困っていること」、「将来（4～5年後）懸念される心配ごとや困りごと」は、いずれも「自分の病気や老後のこと」が多い。

### 自分や家族の生活の事で心配ごとや困っていること、将来（4～5年後）懸念される心配ごとや困りごと

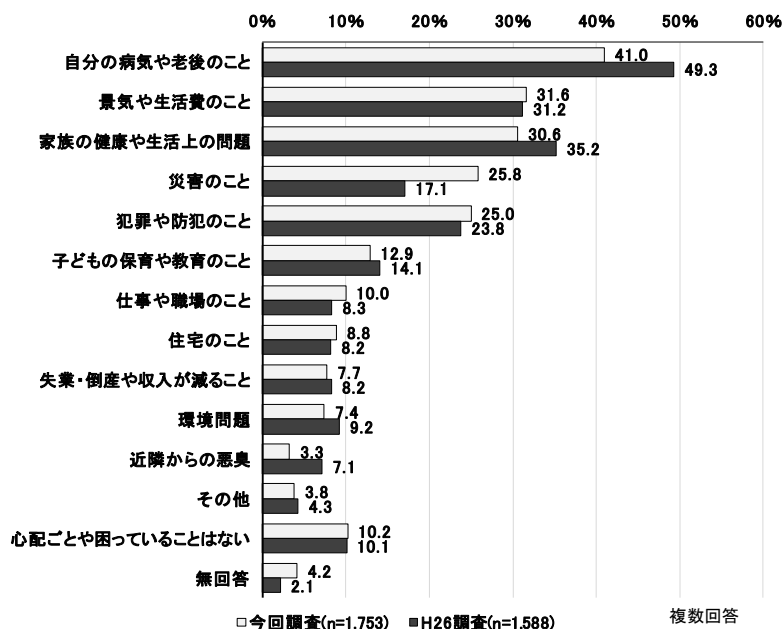
- ・現在、自分や家族の生活の事で心配ごとや困っていることでは「自分の病気や老後のこと」が41.0%と高く、次いで「景気や生活費のこと」、「家族の健康や生活上の問題」などの順である。
- ・将来、懸念される心配ごとや困りごとでは「自分の病気や老後のこと」が58.6%と高く、次いで「家族の健康や生活上の問題」、「景気や生活費のこと」、「災害のこと」、「犯罪や防犯のこと」などの順である。



- ・現在より将来の心配ごとや困っていることが高い項目は「自分の病気や老後のこと」、「家族の健康や生活上の問題」などである。将来より現在の方が高い項目は、「犯罪や防犯のこと」、「仕事や職場のこと」、「近隣からの悪臭」である。

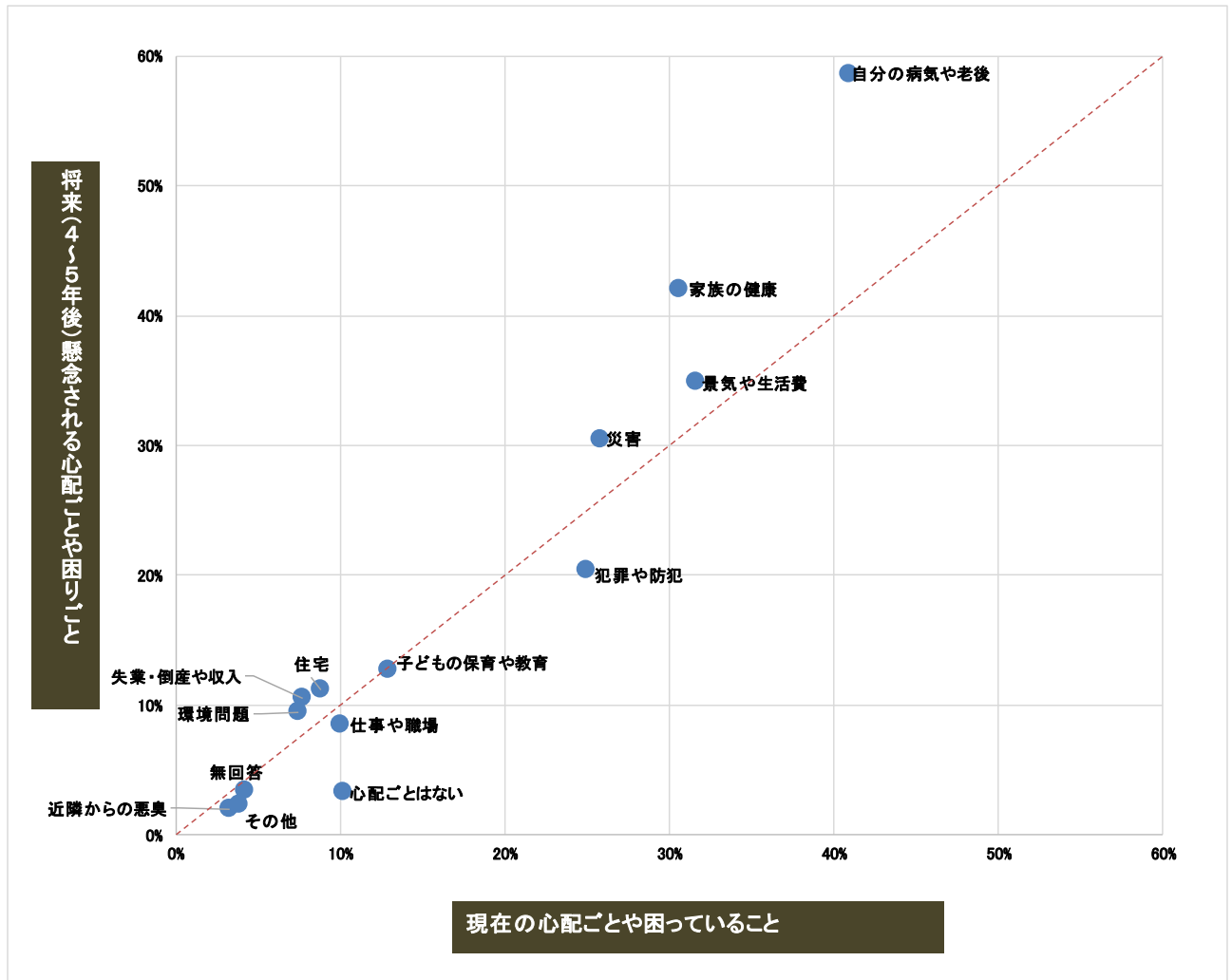
- ・現在、自分や家族の生活の事で心配ごとや困っていることを平成26年度調査と比較すると、1位は「自分の病気や老後のこと」で変わらないが、「景気や生活費のこと」が「家族の健康や生活上の問題」より順位が上がり、2位と3位が入れ替わっている。

### <H26 調査との比較>



### 「現在の心配ごとや困っていること」と「将来(4～5年後)懸念される心配ごとや困りごと」の関係

- ・「現在の心配ごとや困っていること」と「将来(4～5年後)懸念される心配や困りごと」の上位5位は同じ項目が位置しているが、このうち上位4項目(「自分の病気や老後のこと」「景気や生活費のこと」「家族の健康や生活上の問題」「災害のこと」)は「将来(4～5年後)懸念される心配や困りごと」が「現在の心配ごとや困っていること」を上回っており、「犯罪や防犯」は「将来(4～5年後)懸念される心配や困りごと」が「現在の心配ごとや困っていること」を下回っている。

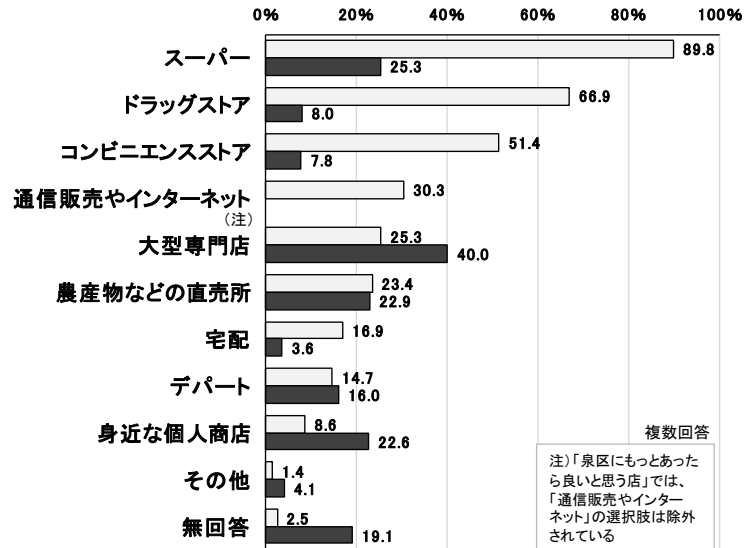


## 2. 買い物や飲食について

食料品や日用品など日常的商品を購入する際利用している店は「スーパー」、泉区にもっとあったら良いと思う店は「大型専門店」が多い。

### 食料品や日用品など日常的商品を購入する際利用している店、泉区にもっとあったら良いと思う店

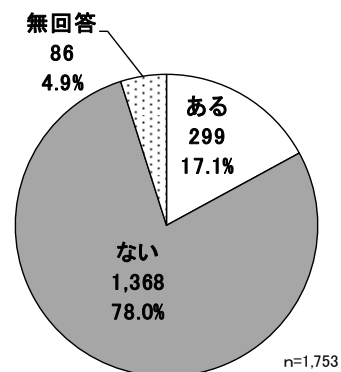
- ・ 買い物や飲食に利用する店は「スーパー」が 89.8%、次いで「ドラッグストア」、「コンビニエンスストア」、「通信販売やインターネット」、「大型専門店」などの順である。
- ・ 泉区にもっとあったら良いと思うお店は「大型専門店」が 40.0%、次いで「スーパー」、「農産物などの直売所」、「身近な個人商店」、「デパート」などの順である。
- ・ 「大型専門店」、「デパート」、「身近な個人商店」では、「日常利用している店」より「泉区にもっとあったら良い店」の割合が高い。



□【日常】利用している店 (n=1,753) ■【日常】泉区にもっとあったら良いと思う店 (n=1,753)

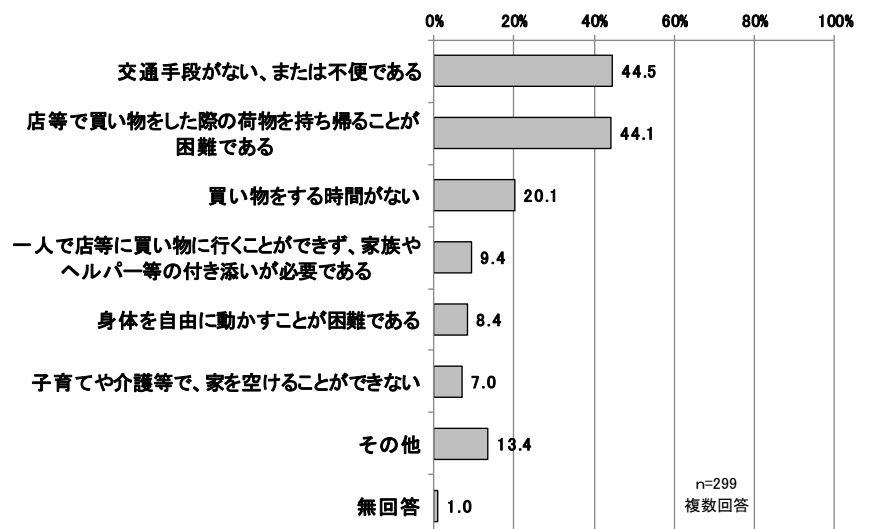
### 食料品や日用品など日常的商品の購入について困っていること

- ・ 「ない」が 78.0%で、「ある」の 17.1%を 60.9 ポイント上回っている。



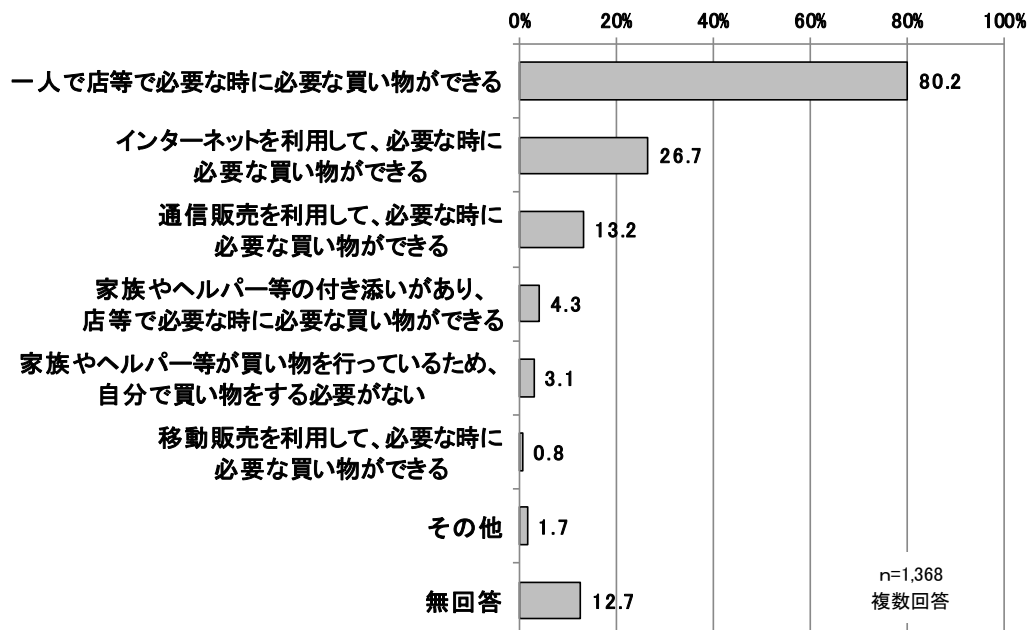
### 困っている理由

- ・ 「交通手段がない、または不便である」が 44.5%、次いで「店等で買い物をした際の荷物を持ち帰ることが困難である」、「買い物をする時間がない」などの順である。



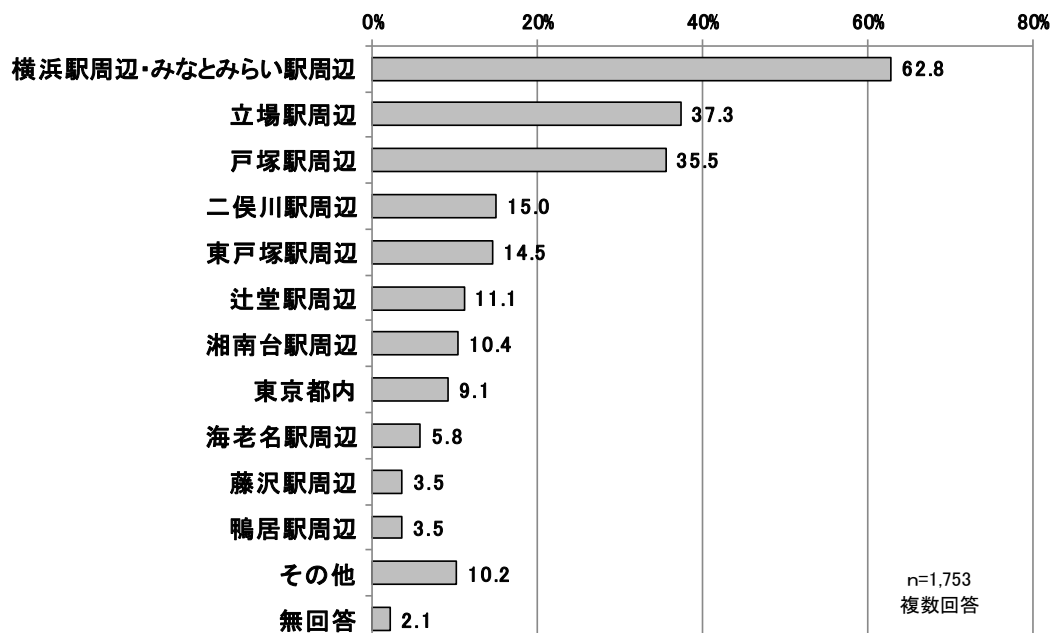
## 困っていることがない理由

- ・「一人で店等で必要な時に必要な買い物ができる」が80.2%、次いで「インターネットを利用して、必要な時に必要な買い物ができる」、「通信販売を利用して、必要な時に必要な買い物ができる」などの順である。



## 日常的商品以外の商品を購入する際、よく利用する場所

- ・「横浜駅周辺・みなとみらい駅周辺」が62.8%、次いで「立場駅周辺」、「戸塚駅周辺」、「二俣川駅周辺」、「東戸塚駅周辺」などの順である。

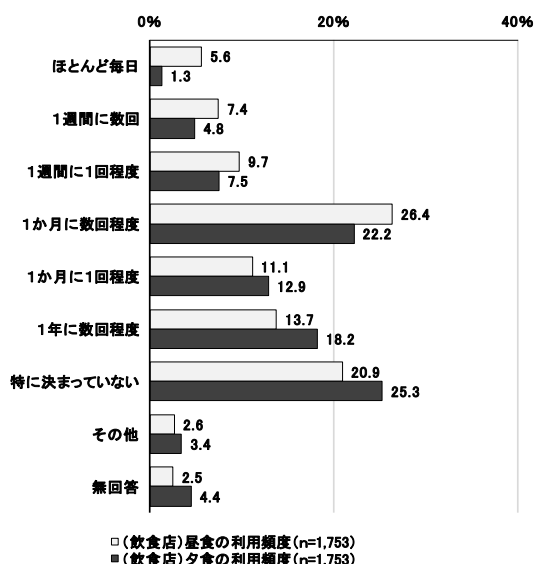


主に利用する飲食店は「ファミリーレストラン」、もっとあったら良いと思う飲食店は「コーヒーショップ、喫茶店」、「専門料理店（中華料理、西洋料理、韓国料理、日本料理、エスニック料理等）」が多い。

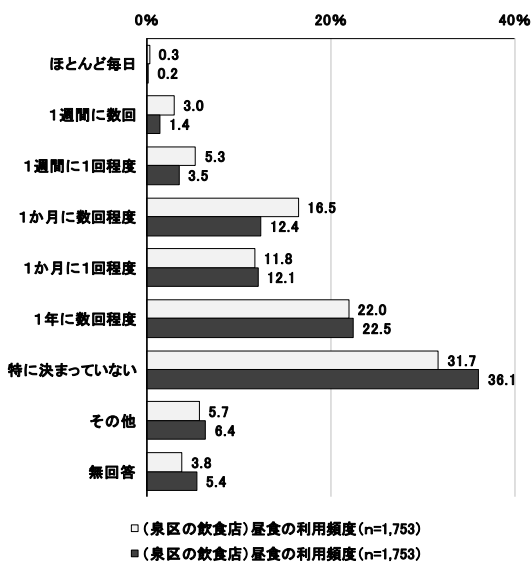
## 飲食店の利用

- ・飲食店の利用頻度は、昼食では「1か月に数回程度」が26.4%、夕食では「特に決まっていない」が25.3%と多い。
- ・泉区の飲食店の利用頻度は、「特に決まっていない」が、昼食で31.7%、夕食で36.1%と多く、次いで「1年に数回程度」が、昼食で22.0%、夕食で22.5%である。
- ・飲食店の利用場面は、「外出のついで」が、昼食で29.4%、夕食で28.6%と多く、次いで昼食では「友人・知人と会う時」が27.7%、夕食では「休日の夕食」が25.7%と多い。
- ・1回（1人）あたりの支払額は、昼食では「800円～1,000円未満」が28.5%、夕食では「1,500円～2,000円未満」が17.9%と多い。

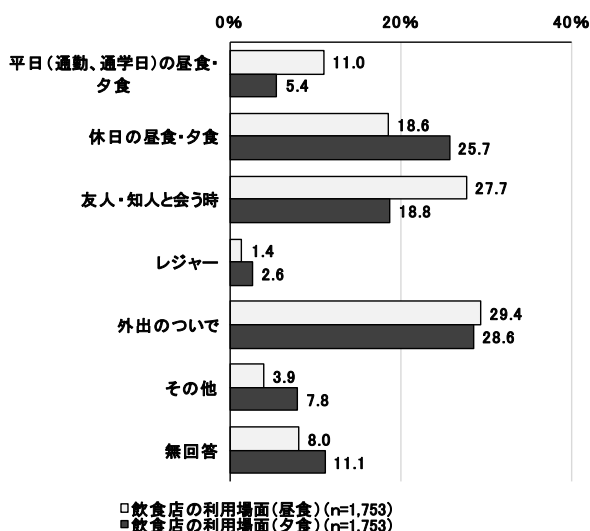
＜飲食店の利用頻度＞



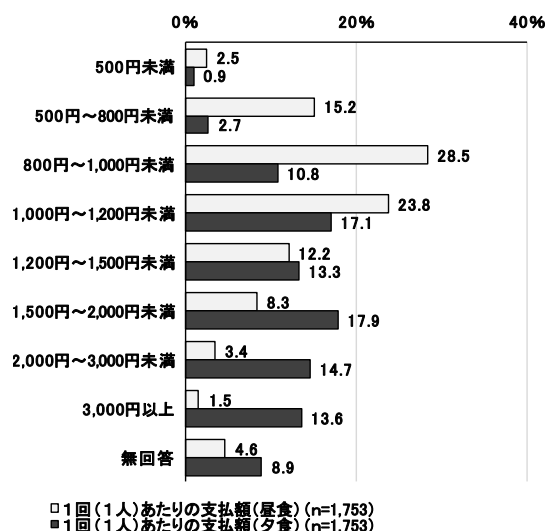
＜泉区の飲食店の利用頻度＞



＜飲食店の利用場面＞

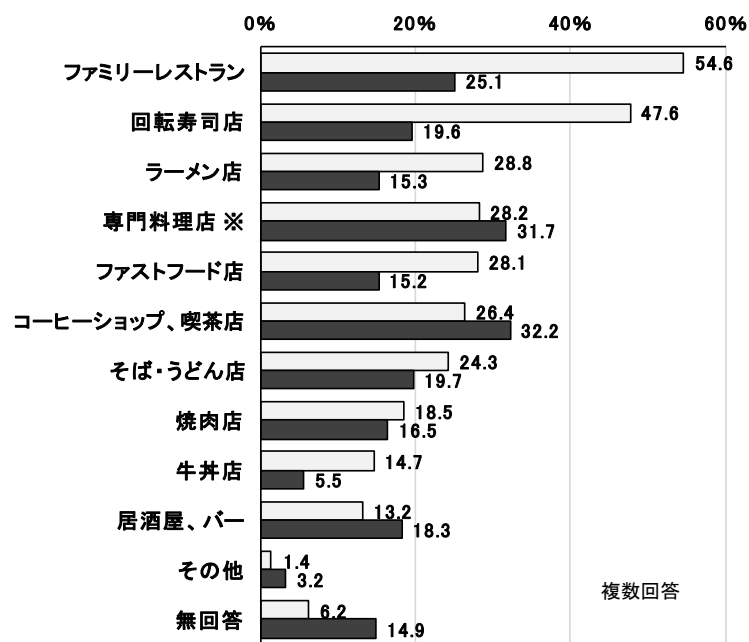


＜1回（1人）あたりの支払額＞



## 飲食で利用するお店、泉区にもっとあったら良いと思うお店

- ・飲食店を利用する際、主に利用する店は「ファミリーレストラン」が54.6%、次いで「回転寿司店」、「ラーメン店」、「専門料理店（中華料理、西洋料理、韓国料理、日本料理、エスニック料理等）」、「ファストフード店」などの順である。
- ・泉区にもっとあったら良いと思う飲食店は「コーヒーショップ、喫茶店」が32.2%、次いで「専門料理店（中華料理、西洋料理、韓国料理、日本料理、エスニック料理等）」、「ファミリーレストラン」、「そば・うどん店」、「回転寿司店」などの順である。
- ・「専門料理店（中華料理、西洋料理、韓国料理、日本料理、エスニック料理等）」、「コーヒーショップ、喫茶店」、「居酒屋、バー」では、「主に利用する店」より「泉区にもっとあったら良い店」の値が高い。



※ 中華料理、西洋料理、韓国料理、日本料理、エスニック料理等

□ 【飲食店】利用している店 (n=1,753)

■ 【飲食店】泉区にもっとあったら良いと思う店 (n=1,753)



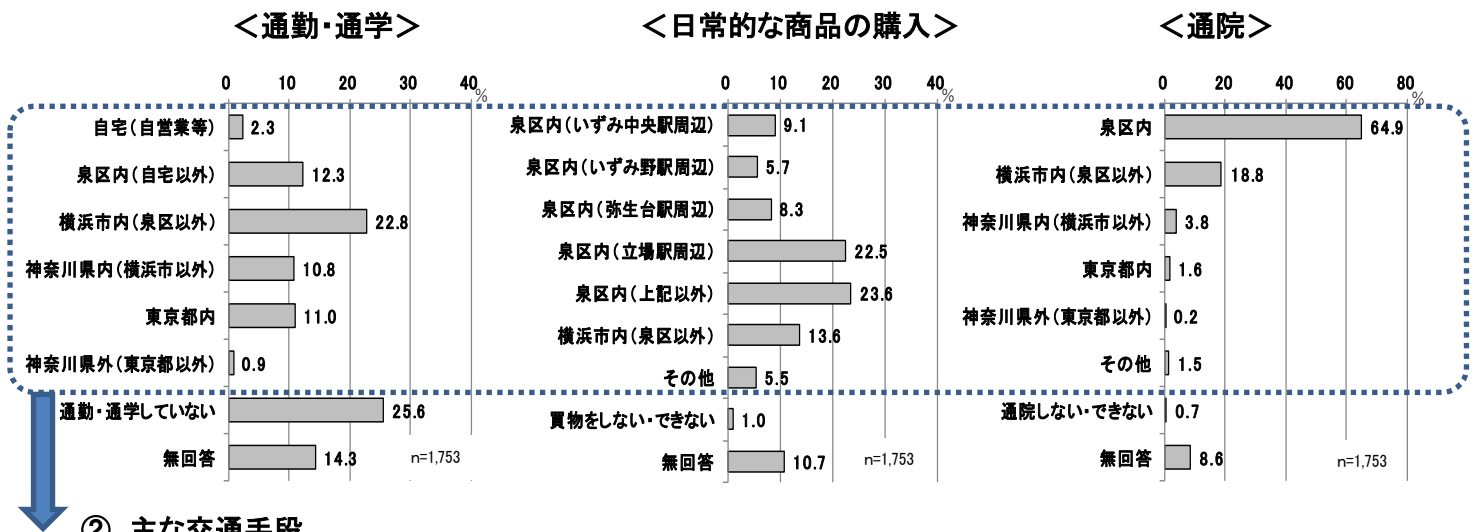
### 3. 日常の交通行動について

通勤・通学での主な行き先は「横浜市内（泉区以外）」、日常的な商品の購入では「泉区内（いずみ中央駅、いずみ野駅、弥生台駅、立場駅周辺以外）」、通院では「泉区内」が多い。

#### 日常の交通行動

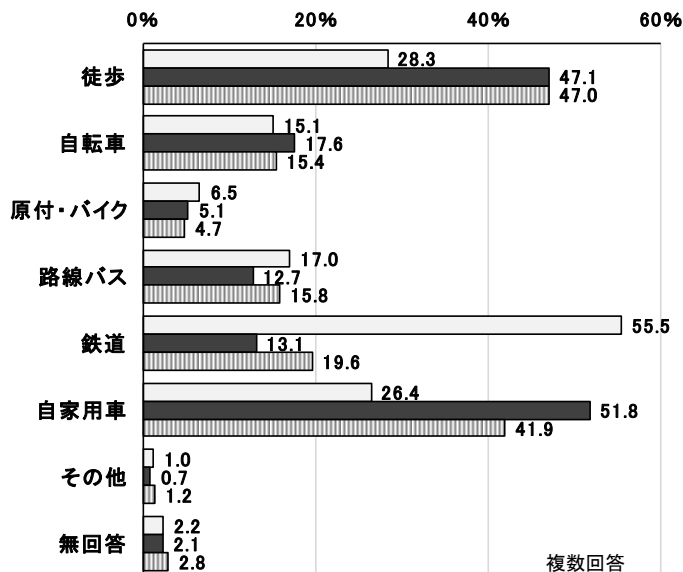
##### ① 主な行き先

- ・ <通勤・通学>で「横浜市内（泉区以外）」、<日常的な商品の購入>で「泉区内（上記以外）」、<通院>で「泉区内」が多い。



##### ② 主な交通手段

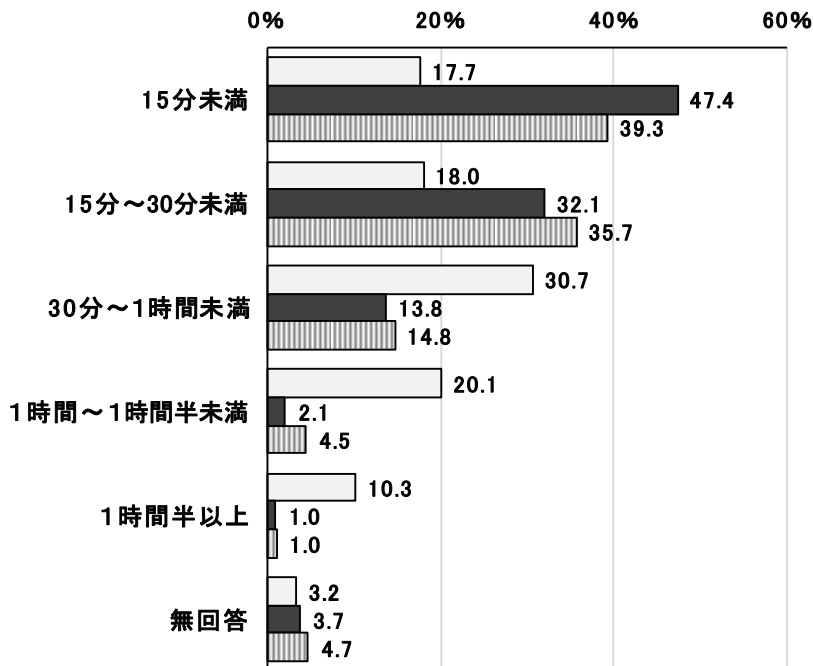
- ・ <通勤・通学>では「鉄道」が55.5%、次いで「徒歩」、「自家用車」、「路線バス」、「自転車」などの順である。
- ・ <日常的な商品の購入>では「自家用車」が51.8%、次いで「徒歩」、「自転車」、「鉄道」、「路線バス」などの順である。
- ・ <通院>では「徒歩」が47.0%、次いで「自家用車」、「鉄道」、「路線バス」、「自転車」などの順である。



□ 通勤・通学(n=1,053) ■ 日常的な商品の購入(n=1,547) ▨ 通院(n=1,590)

### ③移動時間

・＜通勤・通学＞では「30分～1時間未満」、＜日常的な商品の購入＞では「15分未満」、＜通院＞では「15分未満」が多い。

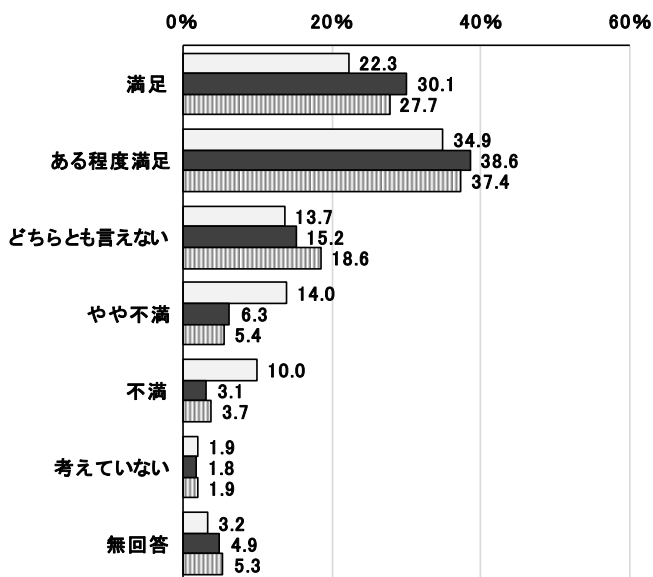


□通勤・通学(n=1,053) ■日常的な商品の購入(n=1,547) ▨通院(n=1,590)

### ④行き先までの交通に対する満足度

・「満足」と「ある程度満足」を足した『満足』は、＜通勤・通学＞で57.2%、＜日常的な商品の購入＞で68.7%、＜通院＞で65.1%である。

・＜通勤・通学＞では、＜日常的な商品の購入＞＜通院＞に比べると『満足』が低く、「やや不満」と「不満」を足した『不満』の割合は高い。

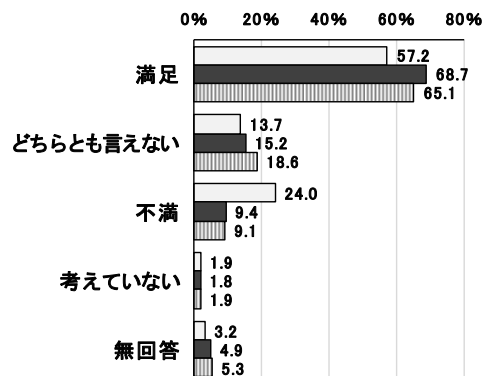


□通勤・通学(n=1,053) ■日常的な商品の購入(n=1,547) ▨通院(n=1,590)

#### 【参考】

※ 『満足』：「満足」+「ある程度満足」

『不満』：「やや不満」+「不満」



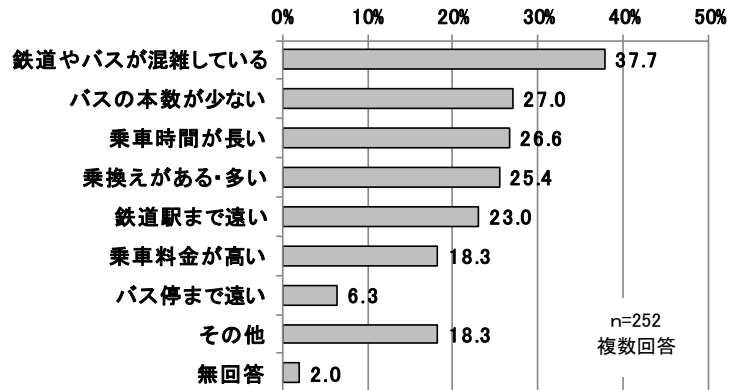
□通勤・通学(n=1,053)  
▨通院(n=1,590)

■日常的な商品の購入(n=1,547)

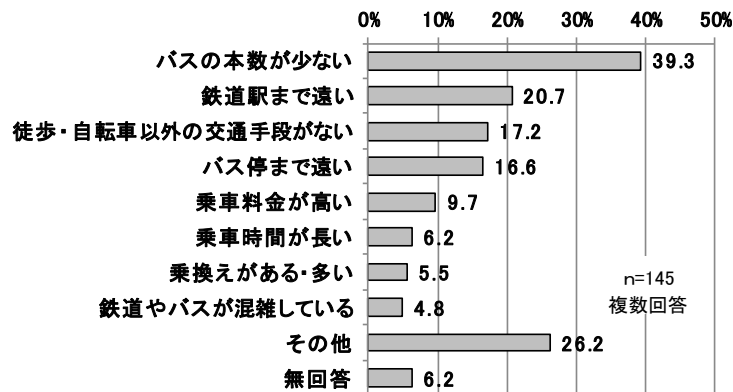
### ⑤ 行き先までの交通を『不満』に感じる理由

- ・<通勤・通学>では「鉄道やバスが混雑している」が37.7%、次いで「バスの本数が少ない」、「乗車時間が長い」、「乗換えがある・多い」、「鉄道駅まで遠い」などの順である。
- ・<日常的な商品の購入>では「バスの本数が少ない」が39.3%、次いで「鉄道駅まで遠い」、「徒歩・自転車以外の交通手段がない」、「バス停まで遠い」などの順である。
- ・<通院>では「バスの本数が少ない」が41.4%、次いで「鉄道駅まで遠い」、「バス停まで遠い」、「乗車料金が低い」、「乗車時間が長い」、「徒歩・自転車以外の交通手段がない」などの順である。

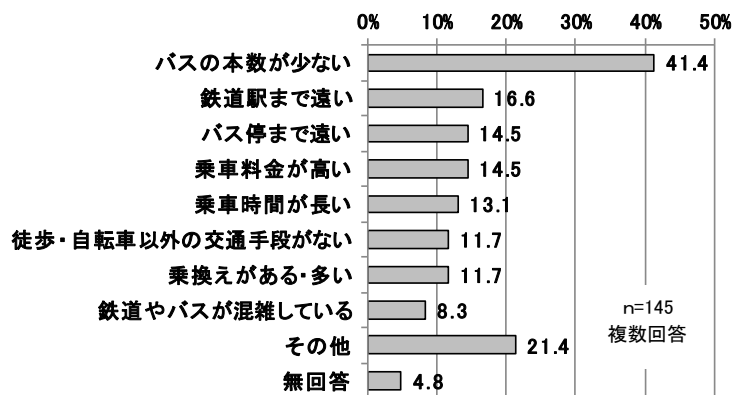
#### <通勤・通学>



#### <日常的な商品の購入>



#### <通院>

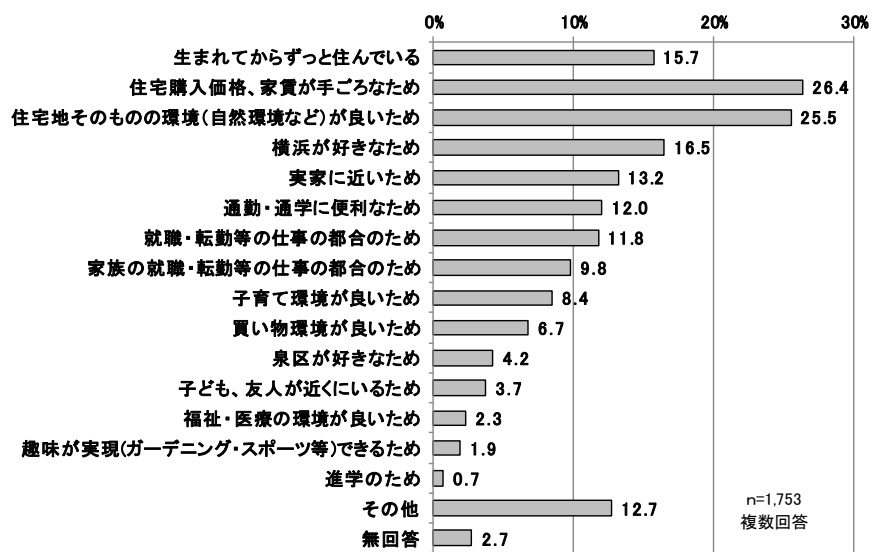


#### 4. 泉区の魅力・定住意向について

泉区に居住したきっかけは「住宅購入価格、家賃が手ごろなため」が多い。  
 泉区に住んで感じる魅力は「自然が豊か・緑が多い」、周りの人へおすすめしたい点は「豊かな自然環境」、「治安の良さ」が多い。  
 泉区への定住意向は73.7%である。

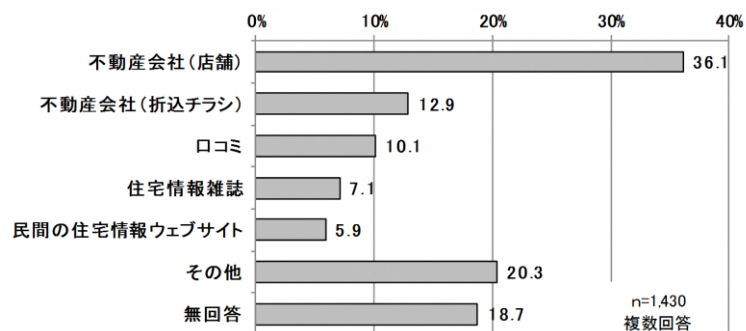
##### 泉区に居住したきっかけ

- ・「住宅購入価格、家賃が手ごろなため」が26.4%、次いで「住宅地そのものの環境（自然環境など）が良いため」、「横浜が好きのため」、「実家に近いため」、「通勤・通学に便利のため」などの順である。



##### 泉区に転居する際、情報収集に利用したもの

- ・「不動産会社（店舗）」が36.1%、次いで「不動産会社（折込チラシ）」、「ロコミ」、「住宅情報雑誌」、「民間の住宅情報ウェブサイト」の順である。



## 泉区にお住まいになって感じる魅力(自由記述)

・1,194人の方から1,781件の意見をいただきました。

泉区に住んで感じる魅力	件数
自然が豊か・緑が多い	551
住環境が良い	191
静か	161
田舎過ぎないのどかな環境・おちついた町	128
交通の便が良い	97
日常の買物が便利等、生活が便利	95
平穏・平和な感じ	61
地域のつながり・人情がある・人柄がよい	55
横浜・湘南にアクセスしやすい	54
農地が多い・農産品が多い	52
治安が良い	50
駅が近い	42
子育てしやすい・子ども達がのびのび育っている	41
施設がそろっている	31
空が広い・空気が良い	25
災害に強い	22
坂が少ない	20
道路・交通が便利で渋滞がない	19
町がきれい・町のセンスが良い	17
家賃が安い	8
区役所の職員が親切	8
川がきれい	6
住み慣れている	6
保育園に入りやすい	4
文化的催しやイベントが多い	4
その他(課題等のご意見を含む)	33
	1,781

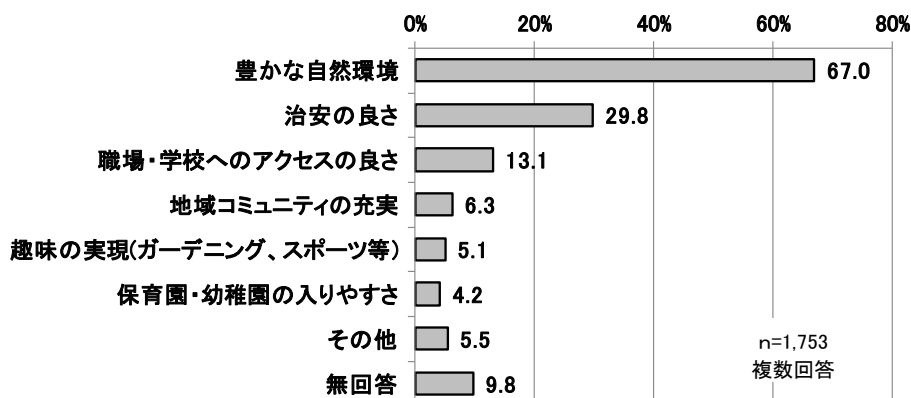
## 泉区にお住まいになって改善が必要と感じる点(自由記述)

・1,026人の方から1,255件の意見をいただきました。

泉区に住んで改善が必要と感じる点	件数
公共交通機関の整備、改善	190
道路整備・道路施設整備、改善	172
商業施設が少ない、魅力がない	128
防犯対策(街灯の設置など)	78
歩道の整備・改善	61
飲食店が少ない、魅力がない	50
悪臭	43
医療機関が少ない、充実してほしい	32
駅周辺・駅前の商業活性化、施設改善	29
公園の充実、整備	18
交通マナーが悪い	18
坂が多い	17
除草、樹木の剪定、街路樹の整備	17
高齢運転者対策、免許返納対策	15
防災(避難場所など)	15
生活環境が悪い(パチンコ屋、産廃など)	15
バリアフリー	15
通学路の整備	14
再開発、まちづくり(通信隊跡地利用含む)	14
町並み、景観がよくない、美化	13
騒音(暴走族、ヘリコプター)	12
娯楽施設がない	12
自然環境の減少	12
スポーツ施設がない	12
公共施設の充実(図書館など)	12
区役所、公共施設へのアクセスの悪さ	11
空き家対策が必要	11
泉区のイメージが低い、知名度が低い、田舎っぽい	11
何もない、泉区だけでは成り立たない、戸塚の方が便利	11
害獣・害虫	10
高齢者の増加	10
地域コミュニケーションの不足	10
自治会町内会、役員への不満	9
ゴミ出しのマナー	9
自転車道の整備	9
子育て環境、子育て支援の改善(保育園含む)	8
高齢者福祉	8
物価が高い	8
住民のマナーが悪い	7
都心へのアクセスが悪い	7
河川環境の改善	7
教育内容、学校、給食	7
歩きタバコの禁止	6
学校が遠い、学区再編	6
路上駐車	6
子育て施設、遊び場の不足	6
若年層の減少	6
ペット対策(マナー、糞害、ドッグランの不足)	5
外国人とのトラブル	5
不法投棄	4
情報が得られない	4
役所の対応	4
イベントが少ない、講座等の開催	4
税金が高い	3
地産地消の推進、農業	3
雇用の改善、働く場所が少ない	3
駐車場がない、駐車料金が安い	2
公衆トイレの設置	2
新規住宅開発がない、新規住宅開発は不要	2
お墓が多い、お墓が少ない	2
障害者福祉の充実	2
公営住宅の整備	2
特になし、このままでよい	5
その他	6
	1,255

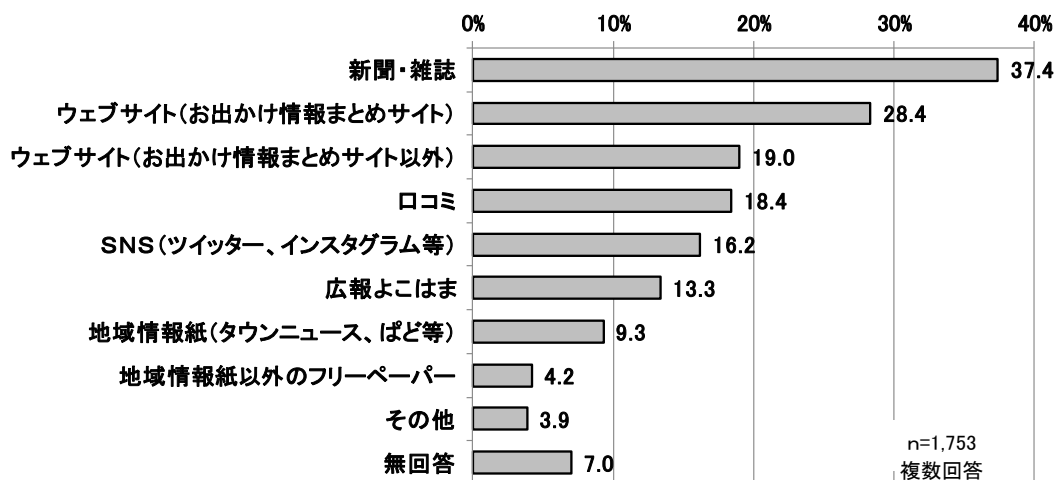
### 泉区の住環境のうち、周りの人へおすすめしたい点

- ・「豊かな自然環境」が 67.0%、次いで「治安の良さ」、「職場・学校へのアクセスの良さ」、「地域コミュニティの充実」、「趣味の実現(ガーデニング、スポーツ等)」、「保育園・幼稚園の入りやすさ」の順である。



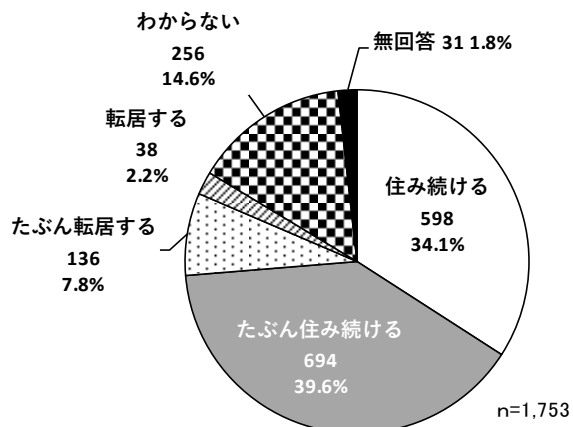
### レジャー等のお出かけ先の情報収集(テレビ以外)

- ・「新聞・雑誌」が37.4%、次いで「ウェブサイト(お出かけ情報まとめサイト)」、「ウェブサイト(お出かけ情報まとめサイト以外)」、「口コミ」、「SNS(ツイッター、インスタグラム等)」などの順である。



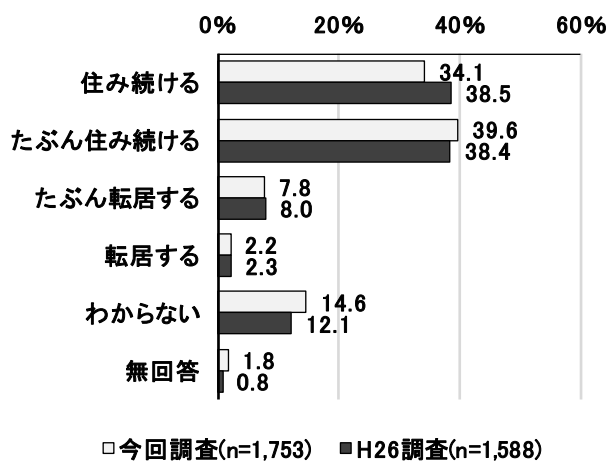
## 定住意向

- ・「住み続ける」(34.1%)「たぶん住み続ける」(39.6%)を合わせた『定住意向』は73.7%である。「たぶん転居する」(7.8%)と「転居する」(2.2%)は合わせて10.0%である。



- ・平成26年度調査と比べると、「住み続ける」と「たぶん住み続ける」を合わせた『定住意向』は、3.2ポイント減少している。

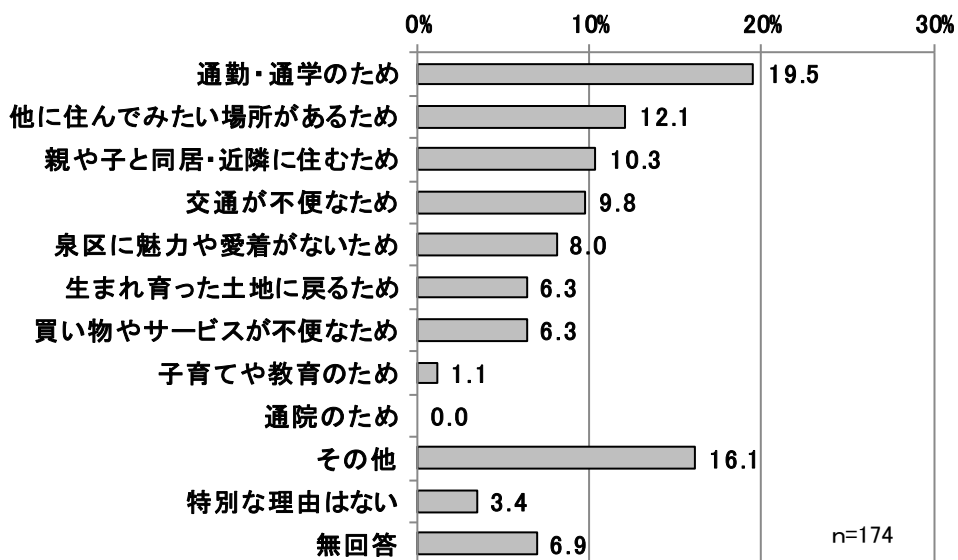
### <H26 調査との比較>





## 転居する・転居したい理由

- ・「通勤・通学のため」が19.5%、次いで「他に住んでみたい場所があるため」、「親や子と同居・近隣に住むため」、「交通が不便なため」、「泉区に魅力や愛着がないため」などの順である。
- ・「その他」の内容は、「結婚のため」（8件）、「転勤のため」（3件）、「高齢になったため」（3件）、「家賃が高いため」（2件）などである。

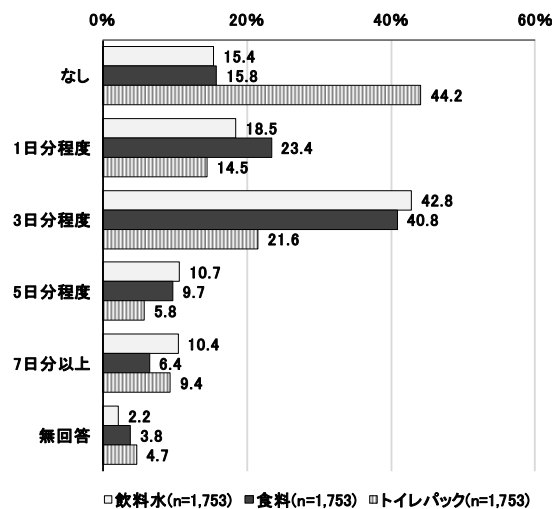


## 5. 防災について

飲料水を「3日分程度」以上備蓄している家庭は63.9%、食料は56.9%、トイレパックは36.8%である。

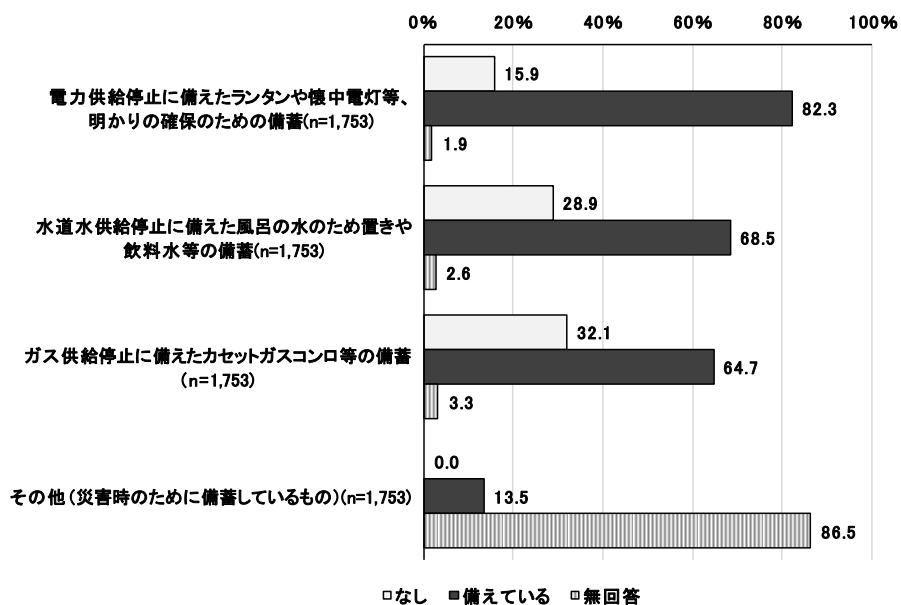
### 家庭で何日分の備蓄を行っているか

- ・＜飲料水＞と＜食料＞は「3日分程度」がそれぞれ42.8%、40.8%である。＜トイレパック＞は「なし」が44.2%である。
- ・＜飲料水＞を「3日分程度」以上備蓄している家庭は63.9%、＜食料＞は56.9%、＜トイレパック＞は36.8%である。



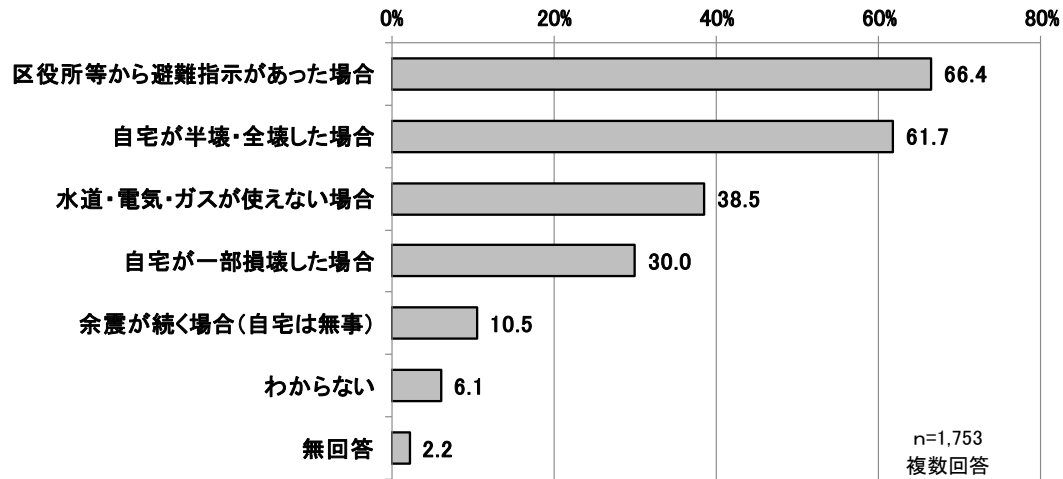
### 水道・電気・ガスが停止した場合の備蓄

- ・「備えている」と回答した方のうち「電力供給停止に備えたランタンや懐中電灯等、明かりの確保のための備蓄」が82.3%、「水道水供給停止に備えた風呂の水のため置きや飲料水等の備蓄」が68.5%、「ガス供給停止に備えたカセットガスコンロ等の備蓄」が64.7%である。



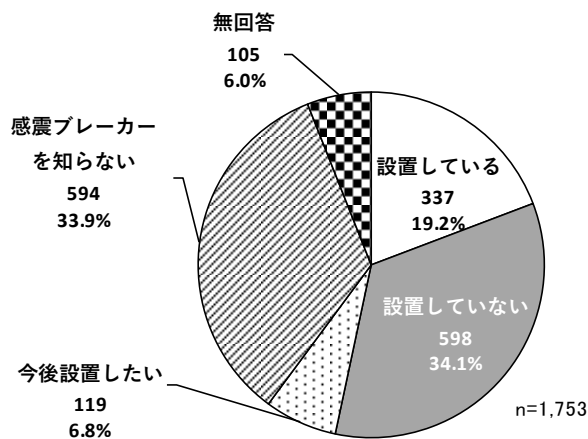
## 大規模な災害が起きた時、避難所へ行く目安

・「区役所等から避難指示があった場合」が66.4%、次いで「自宅が半壊・全壊した場合」、「水道・電気・ガスが使えない場合」、「自宅が一部損壊した場合」、「余震が続く場合（自宅は無事）」の順である。「わからない」と回答した人は6.1%である。



## 感震ブレーカーの設置

・「設置していない」が34.1%、次いで「感震ブレーカーを知らない」が33.9%で、「今後設置したい」の6.8%を合わせると、『感震ブレーカーを設置していない』は74.8%である。「設置している」は19.2%である。

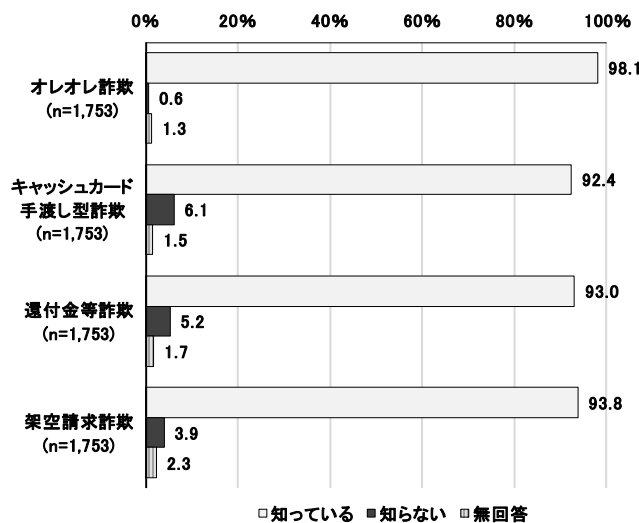


## 6. 防犯について

振り込み詐欺の認知度は高く、振り込み詐欺被害にあわないために心がけていることでは、「通帳、印鑑、キャッシュカードは他人に渡さない」が多い。「何もしていない」は6.6%である。

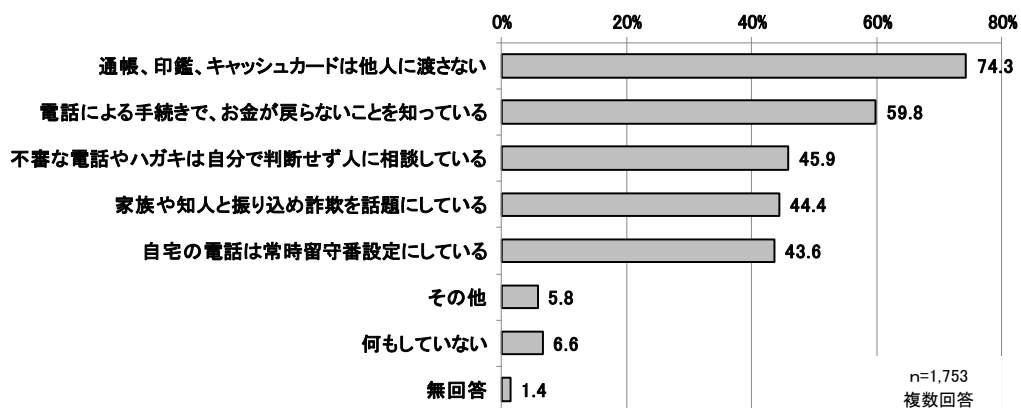
### 振り込み詐欺の認知度

- ・振り込み詐欺の認知度は、＜オレオレ詐欺＞が98.1%、＜キャッシュカード手渡し型詐欺＞が92.4%、＜還付金等詐欺＞が93.0%、＜架空請求詐欺＞が93.8%である。



### 振り込み詐欺被害にあわないために、心がけていること

- ・「通帳、印鑑、キャッシュカードは他人に渡さない」が74.3%、次いで「電話による手続きで、お金が戻らないことを知っている」、「不審な電話やハガキは自分で判断せず人に相談している」、「家族や知人と振り込み詐欺を話題にしている」、「自宅の電話は常時留守番設定にしている」の順である。「何もしていない」は6.6%である。



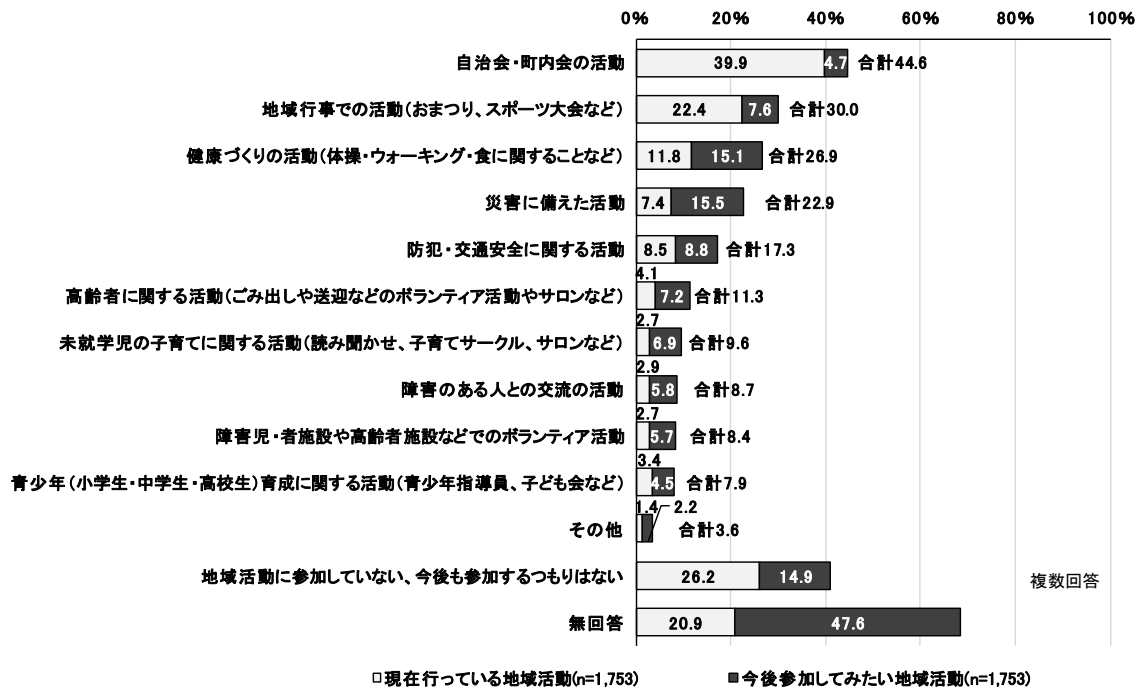
## 7. 地域での支え合いについて

今後新たに参加してみたい地域活動では「災害に備えた活動」「健康づくりの活動」が多い。活動への参加の頻度は「1年に数回程度」、参加していない理由は「参加する時間がとれない」が多い。

より多くの人に参加できるようにするために必要なことは、「参加に必要な情報の提供(活動場所・内容など)」が多い。

### 現在、参加している地域活動、今後参加してみたい活動

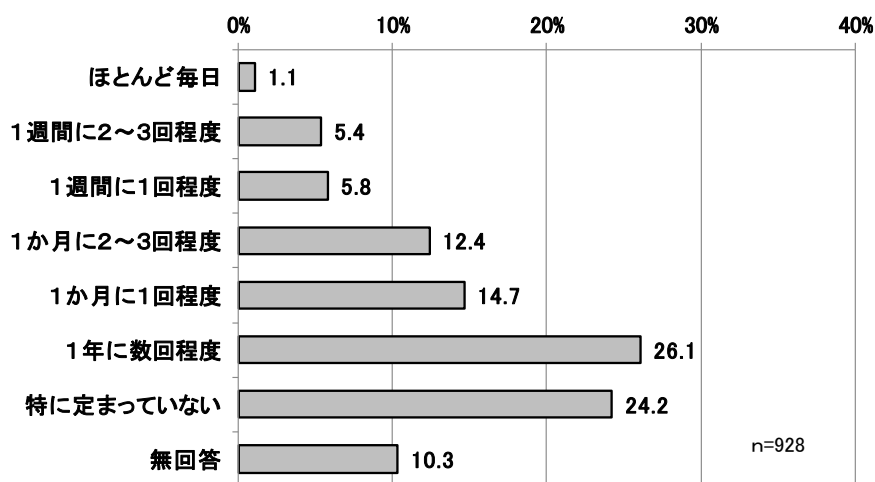
- ・<参加している地域活動>は「自治会・町内会の活動」が39.9%、次いで「地域行事での活動(おまつり、スポーツ大会など)」、「健康づくりの活動(体操・ウォーキング・食に関することなど)」、「防犯・交通安全に関する活動」、「災害に備えた活動」などの順である。「地域活動に参加していない」は26.2%である。
- ・<今後新たに参加してみたい地域活動>は「災害に備えた活動」が15.5%、次いで、「健康づくりの活動(体操・ウォーキング・食に関することなど)」、「防犯・交通安全に関する活動」、「地域行事での活動(おまつり、スポーツ大会など)」、「高齢者に関する活動(ごみ出しや送迎などのボランティア活動やサロンなど)」などの順である。「今後も参加するつもりはない」は14.9%である。



## 参加の頻度

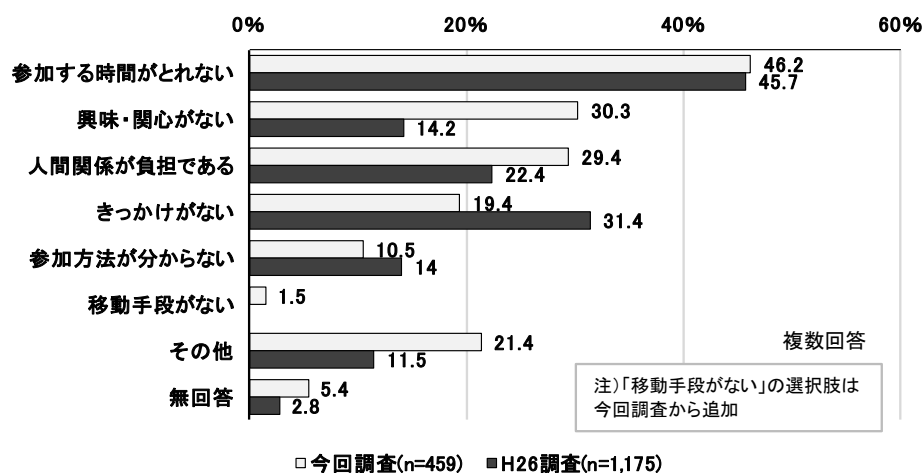
※ 複数の活動に参加されている方は、全ての活動を含めた延べ回数で回答

- ・「1年に数回程度」が26.1%、次いで「1か月に1回程度」、「1か月に2～3回程度」、「1週間に1回程度」、「1週間に2～3回程度」、「ほとんど毎日」の順である。「特に定まっていない」は24.2%である。



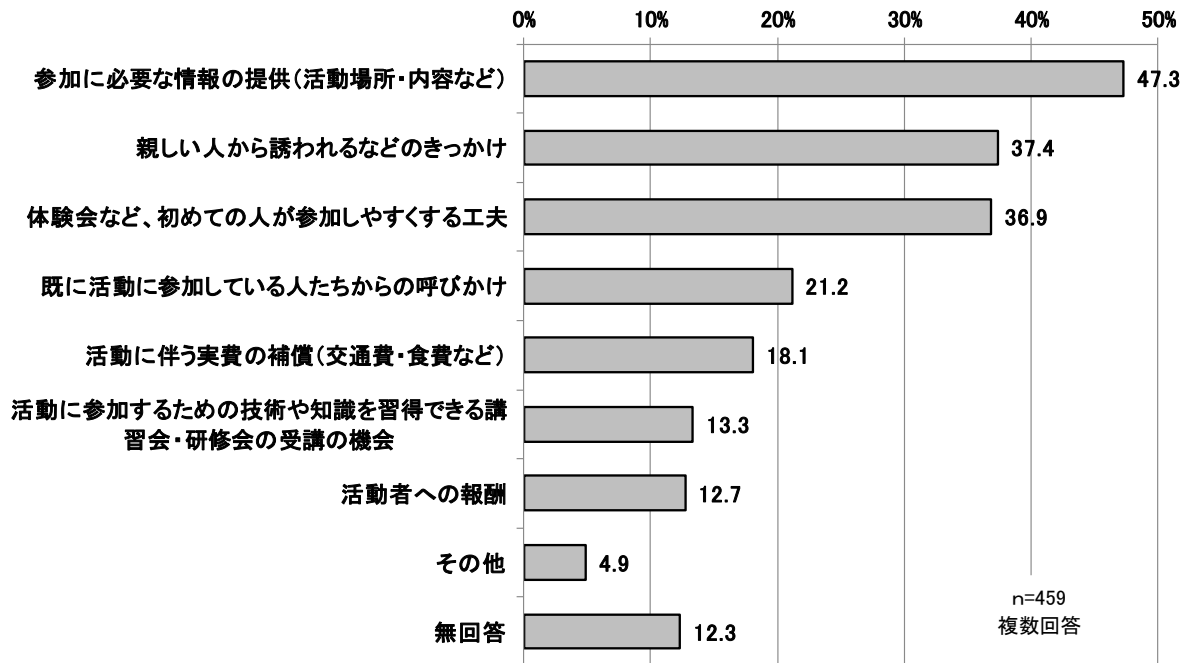
## 地域活動に参加していない、または参加をためらう理由

- ・「参加する時間がとれない」が46.2%、「興味・関心がない」、「人間関係が負担である」、「きっかけがない」、「参加方法が分からない」、「移動手段がない」の順である。



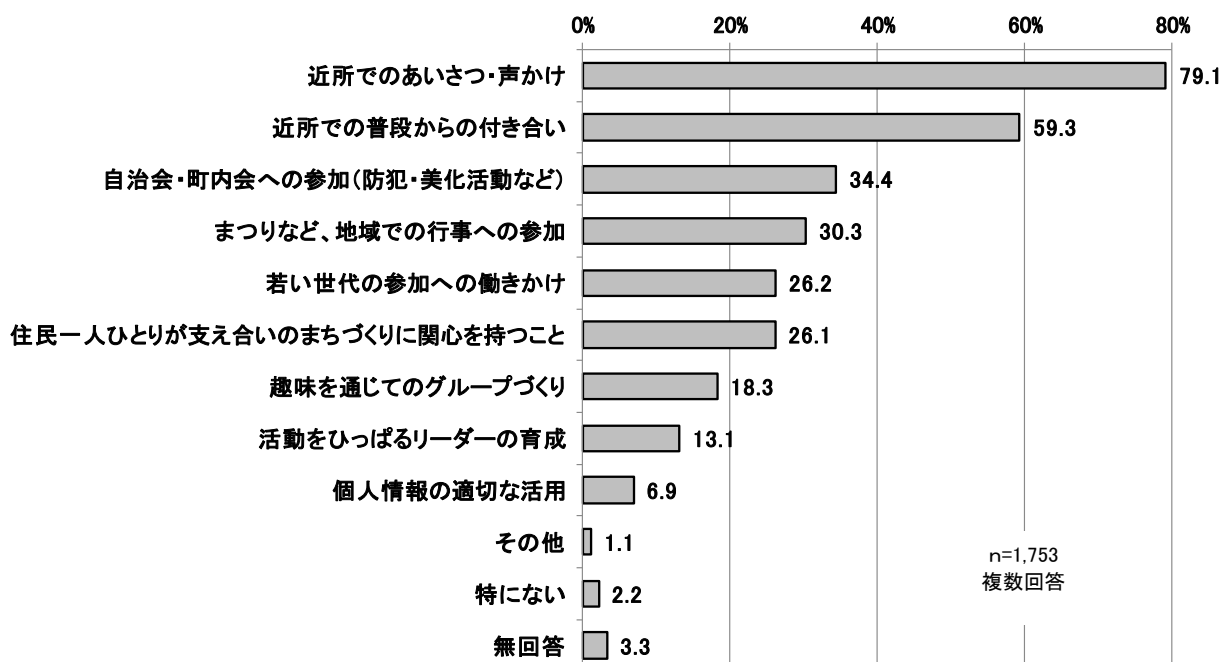
### 地域活動に、より多くの人に参加できるようにするために必要なこと

- ・「参加に必要な情報の提供（活動場所・内容など）」が47.3%、次いで「親しい人から誘われるなどのきっかけ」、「体験会など、初めての人が参加しやすくする工夫」、「既に活動に参加している人たちからの呼びかけ」、「活動に伴う実費の補償（交通費・食費など）」などの順である。



### 地域で「身近な支え合いの関係」を築いていくために必要なこと

- ・「近所でのあいさつ・声かけ」が79.1%、次いで「近所での普段からの付き合い」、「自治会・町内会への参加(防犯・美化活動など)」、「まつりなど、地域での行事への参加」などの順である。



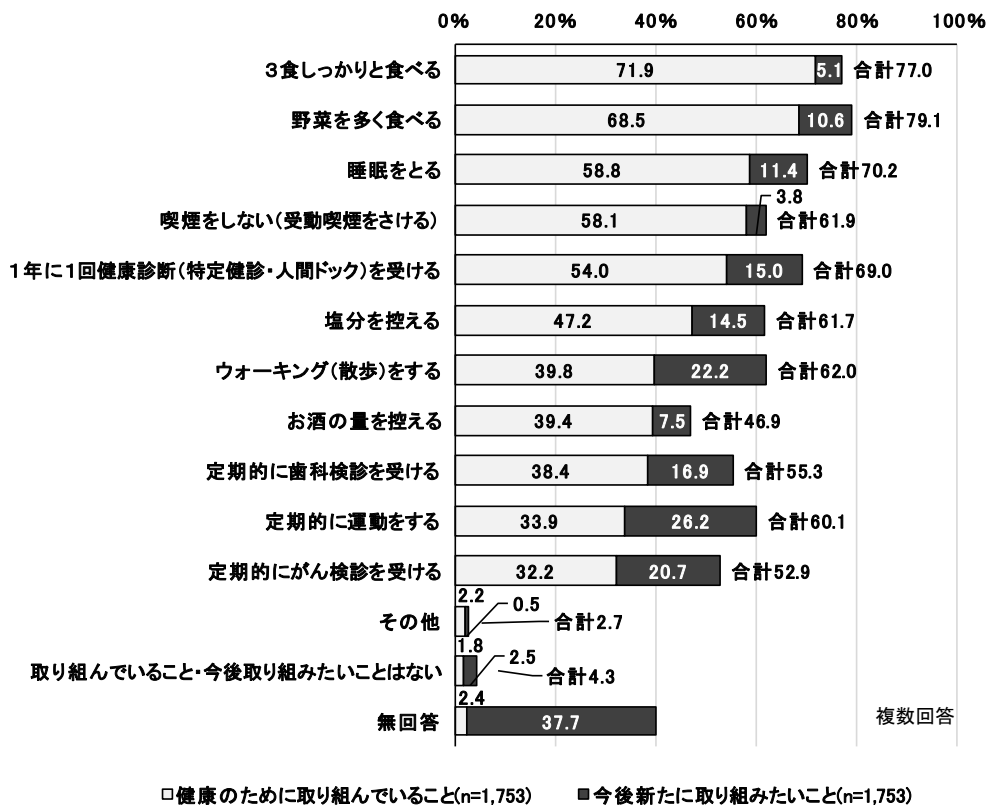
## 8. 健康づくりについて

健康のために取り組んでいることは「3食しっかりと食べる」、「野菜を多く食べる」、今後新たに取り組みたいことは「定期的に運動をする」が多い。

健康づくりに必要な環境の整備では「簡単にできる運動メニューの情報提供」が多い。

### 健康のために取り組んでいること、今後取り組みたいこと

- ・<健康のために取り組んでいる>は「3食しっかりと食べる」が71.9%、次いで「野菜を多く食べる」、「睡眠をとる」、「喫煙をしない（受動喫煙をさける）」、「1年に1回健康診断（特定健診・人間ドック）を受ける」などの順である。「取り組んでいることはない」は1.8%である。
- ・<今後新たに取り組みたい>は「定期的に運動をする」が26.2%、次いで「ウォーキング（散歩）をする」、「定期的ながん検診を受ける」、「定期的に歯科検診を受ける」、「年に1回健康診断（特定健診・人間ドック）を受ける」などの順である。「今後取り組みたいことはない」は2.5%である。

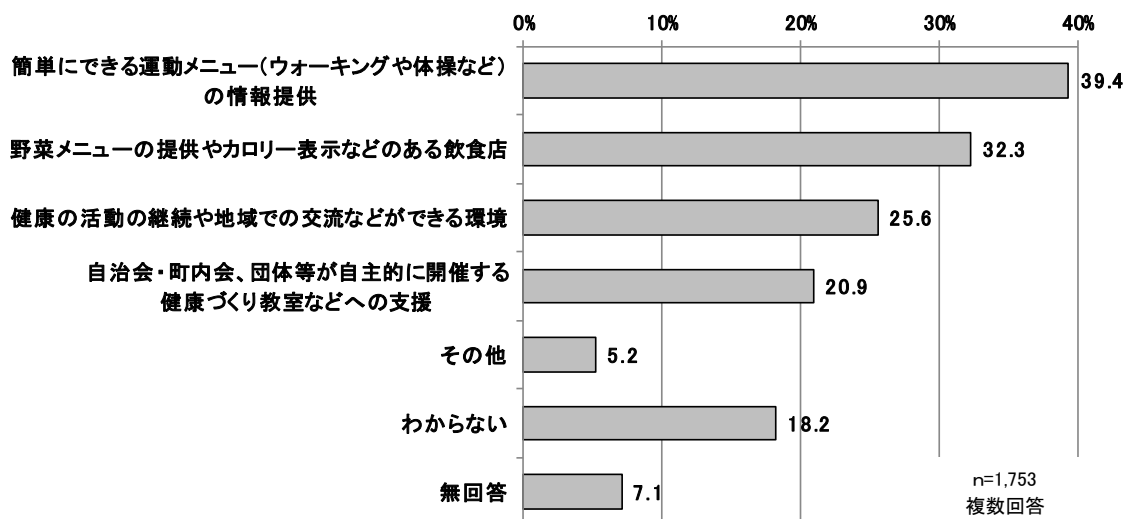


- ・「健康のために取り組んでいる」と「今後新たに取り組みたい」を合わせると、「野菜を多く食べる」が79.1%、次いで「3食しっかりと食べる」、「睡眠をとる」、「1年に1回健康診断（特定健診・人間ドック）を受ける」、「ウォーキング（散歩）をする」などの順である。



## 健康づくりを進める上で、整備されているとよい環境

- ・「簡単にできる運動メニュー（ウォーキングや体操など）の情報提供」が39.4%、次いで「野菜メニューの提供やカロリー表示などのある飲食店」、「健康の活動の継続や地域での交流などができる環境」、「自治会・町内会、団体等が自主的に開催する健康づくり教室などへの支援」の順である。「わからない」は18.2%である。



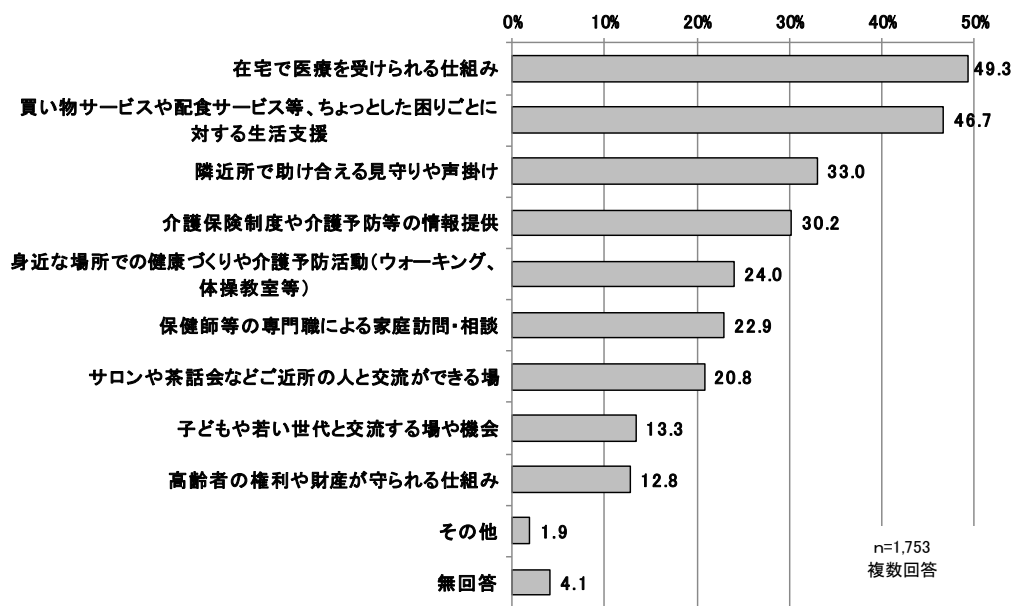
## 9. 高齢者福祉について

高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし続けるために必要な支援やサービスは何かという問いでは、「在宅で医療を受けられる仕組み」、「買い物サービスや配食サービス等の生活支援」と答えた人が多い。

認知症になった時に身近に相談できる人が「いる」と答えた人は59.0%で、認知症になった時の相談先は「親族」が多い。

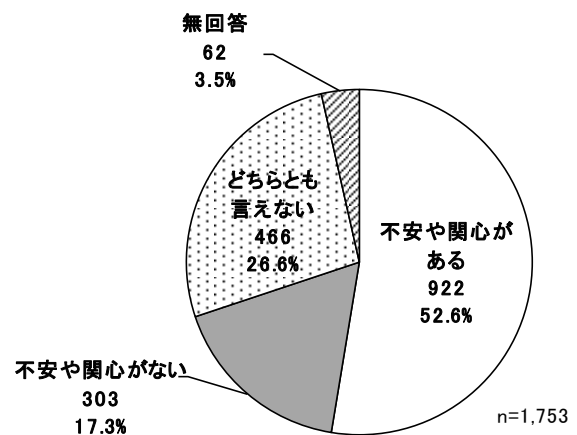
### 高齢者が住み慣れた地域でいきいきと元気に暮らし続けるために必要な支援やサービス

- ・「在宅で医療を受けられる仕組み」が49.3%、次いで「買い物サービスや配食サービス等、ちょっとした困りごとに対する生活支援」、「隣近所で助け合える見守りや声掛け」、「介護保険制度や介護予防等の情報提供」
- ・身近な場所での健康づくりや介護予防活動(ウォーキング、体操教室等)
- ・保健師等の専門職による家庭訪問・相談
- ・サロンや茶話会など近所の人と交流ができる場
- ・子どもや若い世代と交流する場や機会
- ・高齢者の権利や財産が守られる仕組み
- ・その他
- ・無回答



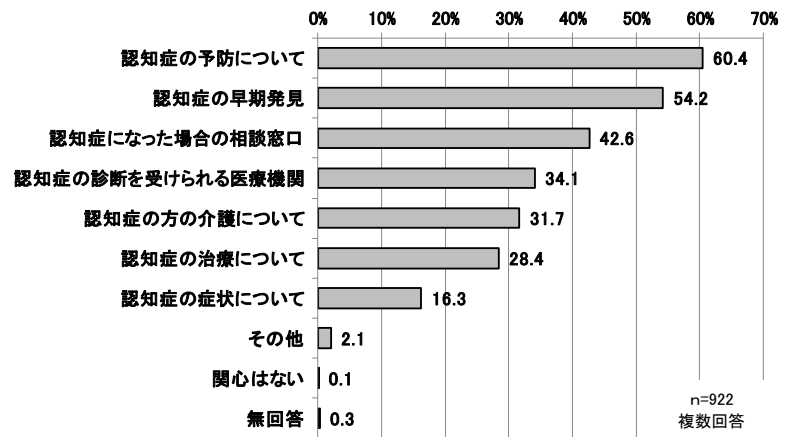
### 認知症について不安や関心があるか

- ・「不安や関心がある」が52.6%、「不安や関心がない」が17.3%である。



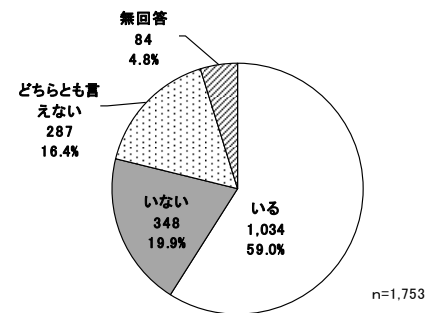
## 認知症について関心のあること

- ・「認知症の予防について」が60.4%、次いで「認知症の早期発見」、「認知症になった場合の相談窓口」、「認知症の診断を受けられる医療機関」、「認知症の方の介護について」などの順である。



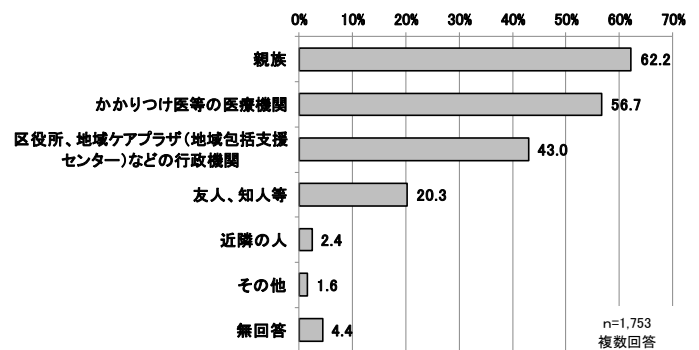
## 家族や自身が認知症になったときに、身近に相談できる人がいるか

- ・「いる」が59.0%、「いない」は19.9%である。



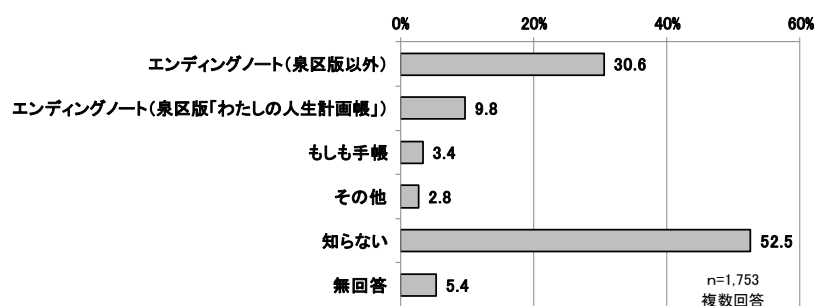
## 家族や自身が認知症になったときの相談先

- ・「親族」が62.2%、次いで「かかりつけ医等の医療機関」、「区役所、地域ケアプラザ（地域包括支援センター）などの行政機関」、「友人、知人等」などの順である。



## 人生の終末期に向けて必要な情報を残すためのノート等について知っているもの

- ・「エンディングノート（泉区版以外）」が30.6%、次いで「エンディングノート（泉区版「わたしの人生計画帳）」」、「もしも手帳」の順である。「知らない」は52.5%である。



## 10. 子育て支援・青少年育成について

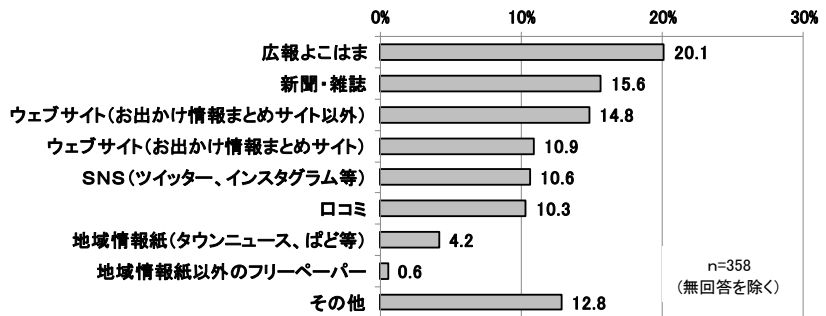
泉区は子育てがしやすい環境だと感じている人は38.5%である。

子育て中の親子が地域とつながりを持つために、隣近所や地域住民にできる取組はどのようなことかという問いでは「親子が集える地域の身近な場づくり」、「普段からの声掛け」と答えた人が多い。

身近に、ひきこもり等の困難を抱える人が「いる」と答えた人は15.7%である。

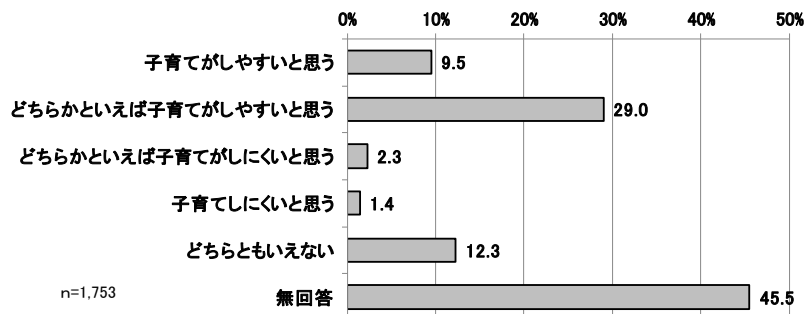
### 子育て関係の情報の収集方法

- ・「広報よこはま」が20.1%、次いで「新聞・雑誌」、「ウェブサイト（お出かけ情報まとめサイト以外）」、「ウェブサイト（お出かけ情報まとめサイト）」、「SNS（ツイッター、インスタグラム等）」などの順である。



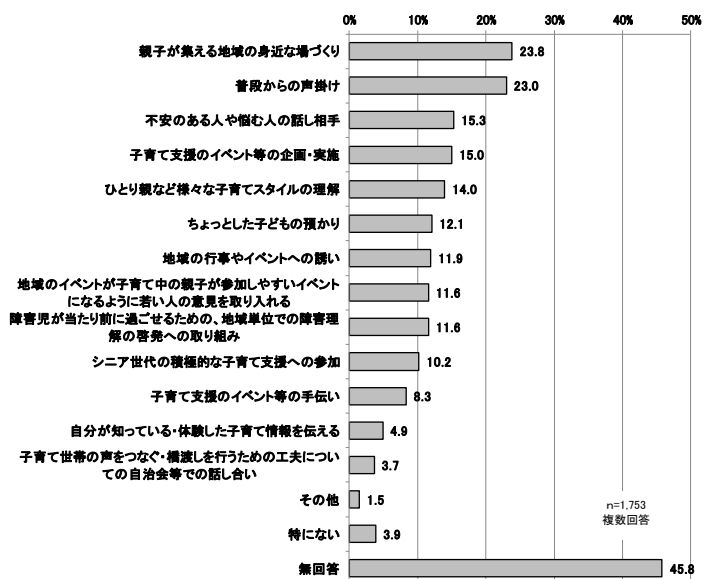
### 泉区は子育てがしやすい環境だと思うか

- ・「どちらかといえば子育てがしやすいと思う」が29.0%、「子育てがしやすいと思う」と合わせると38.5%が『子育てしやすい』環境だと感じている。



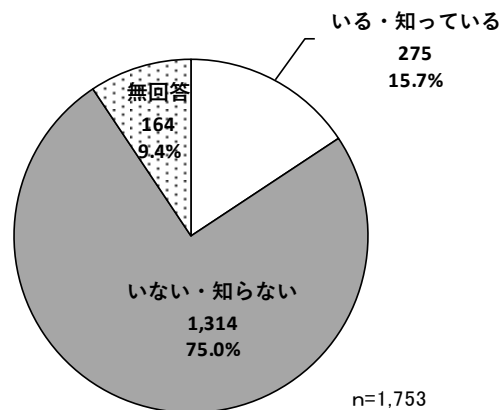
### 子育て中の親子が地域とつながりを持つために、隣近所や地域住民にできる取組

- ・「親子が集える地域の身近な場づくり」が23.8%、次いで「普段からの声掛け」、「不安のある人や悩む人の話し相手」、「子育て支援のイベント等の企画・実施」、「ひとり親など様々な子育てスタイルの理解」などの順である。



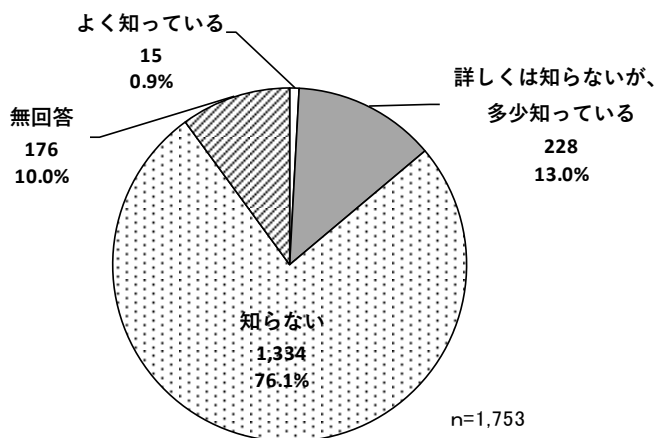
### 身近に、ひきこもり等の困難を抱える人がいるか・知っているか

- ・「いない・知らない」が75.0%、「いる・知っている」は15.7%である。



### ひきこもり等の困難を抱える人や家族に対して、横浜市が行っている様々な取組や支援の認知度

- ・「知らない」が76.1%、「詳しくは知らないが、多少知っている」は13.0%である。



### ひきこもり等の困難を抱える人への支援として、特に重要だと思う項目

- ・「相談できる身近な場所」が44.4%、次いで「相談できる身近な人」、「区役所での専門相談の周知」、「ひきこもり等の困難を抱える人及びその家族への理解」、「家族以外の人と交流できる機会・場」などの順である。「わからない」は7.3%、「特にない」は1.0%である。

